

三芳町まちづくり懇話会 報告書

平成29年度

目次

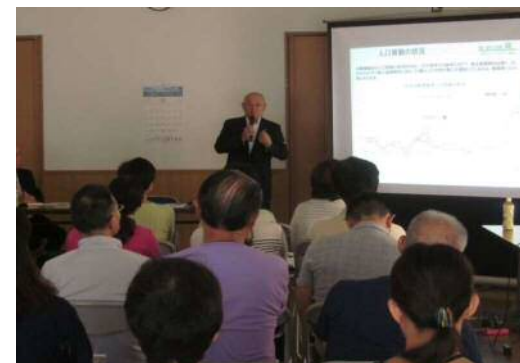
平成29年度まちづくり懇話会 概要報告	1
参加人数一覧	2
テーマ別意見	
道路・交通	3
(事前質問)	
(当日意見交換)	9
まちづくり全般	30
(事前質問)	
(当日意見交換)	31
健康・福祉	36
(当日意見交換)	
自治・防犯・防災	40
(事前質問)	
(当日意見交換)	41
環境	48
(事前質問)	
(当日意見交換)	49
自然・公園	52
(事前質問)	
(当日意見交換)	53
教育・文化	54
(事前質問)	
(当日意見交換)	55
産業・観光	60
(事前質問)	
(当日意見交換)	63
都市計画	65
(当日意見交換)	
来場者アンケート回答者属性	67

まちづくり懇話会 概要報告

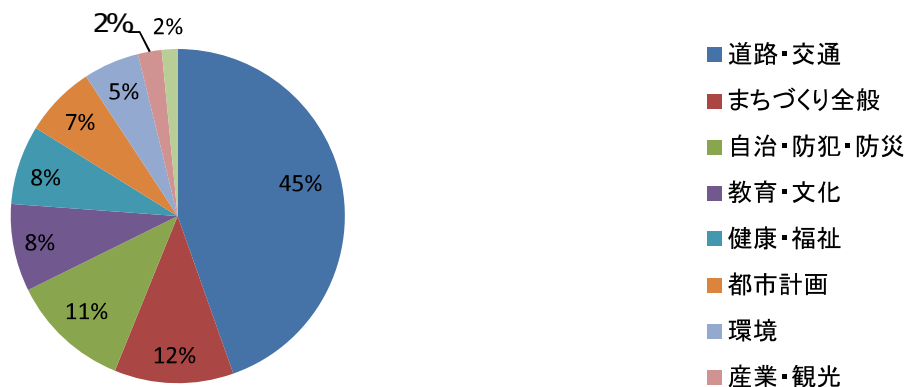
住民の皆さんの声を町の政策形成に反映させるため、各行政区協力のもと、まちづくり懇話会を開催しました。4日間合計で約500人が参加しました。今年度は町からの情報発信として「まちづくりへの取り組み」「地区別テーマ(スマートIC、公共交通等)」について町長より説明をしました。その後、各行政区からの質問事項の回答や、自由な意見交換の場では、当日の参加者からの活発な意見交換が実施されました。この懇話会でいただいたご意見は、今後のまちづくりへ活かし、町の政策形成に反映させていただきます。

まちづくり懇話会 分野別意見割合

分野	割合(%)	意見・提案(抜粋)
道路・交通	45	スマートIC、信号機の設置、歩道安全対策、道路改良・舗装修繕、公共交通について
まちづくり全般	12	財政状況、雇用創出、少子高齢化対策、人口維持について
自治・防犯・防災	11	集会所修繕、空き家対策、消防団について
教育・文化	8	小学校のトイレ、フードロス、給食費、学力向上対策について
健康・福祉	8	健康長寿事業、組織連携、ふれあいセンターについて
都市計画	7	企業誘致・留置、保全と開発、住居表示について
環境	5	ゴミ減量・分別・処理、清掃工場跡地の利用について
産業・観光	2	日本農業遺産の取り組み、農業センター改修、観光産業方策について
自然・公園	2	公園の日蔭、公園とこども広場の表記について
合計	100	



まちづくり懇話会 意見・提案分野別割合



平成29年度 まちづくり懇話会 参加人数一覧

(人)

開催日		開催時間	行政区	開催場所	住民参加者数 (職員を除く)	住民参加者数 (職員を含む)
6月	17日(土)	10:00~11:30	北永井2区	北永井第二区集会所	14	22
		13:00~14:30	藤久保2区	藤久保第二区集会所	34	43
		18:00~19:30	藤久保4区	藤久保第四区集会所	25	34
	18日(日)	10:00~11:30	藤久保1区	藤久保第一区集会所	24	30
		13:00~14:30	藤久保3区	藤久保第三区集会所	42	50
		15:30~17:00	北永井1区	北永井第一区集会所	50	58
		18:00~19:30	上富2区	農業センター	15	22
	24日(土)	10:00~11:30	みよし台1区	みよし台第一区集会所	40	47
		13:00~14:30	上富1区	上富第一区集会所	21	29
		15:30~17:00	竹間沢1区	竹間沢第一区集会所	20	28
		18:00~19:30	上富3区	上富第三区集会所	17	25
	25日(日)	10:00~11:30	北永井3区	北永井第三区集会所	48	56
		15:30~17:00	藤久保5区	藤久保第五区第二集会所	28	36
		18:00~19:30	藤久保6区	藤久保第六区集会所	20	27
	参加者数合計					398
一会場あたりの平均					28.4	36.2

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤4	道路・交通	大型車走行規制について	<p>大型車がマンション横の計画道路近辺に駐車したり(※工場等への入場時間前で近隣道路で待機)、一日中頻繁に走行していて、それだけでなく狭い道路が混雑したり、渋滞して通学児童にとっても非常に危険な状況が見受けられます。「大型車走行規制」などのルールを作ることはできないでしょうか。</p> <p>(※スクールゾーンに入るまでの道路がとても狭く、駐車しているダンプさえある状況は、取り締まりが必要ではないでしょうか。昼間自転車で走っている人の横を徐行もしない大型車が通行するでは、子どもたちがいつ事故にあってもおかしくないと思われます。)</p>	<p>【道路交通課】</p> <p>ダンプやトラック等の大型車の通行禁止等の走行規制をするためには、埼玉県警本部(公安委員会)が指定をする必要があります(市町村に権限はありません)。</p> <p>また、通行規制をするためには地域住民が望んでいることが前提となり、周辺企業などからの了承も得る必要があります。そして地域住民の代表者(区長、町議員など)により町長宛に要望書の提出をしていただきます(個人からの要望は受付していません)。内容確認後、東入間警察署長宛に要望書を提出いたします。現場検証による当該道路の形状や幅員の確認、通行車両の運転手等の聞き取り調査を行ったうえで、県警本部に上申され規制についての適否の判断がされます。</p> <p>現状、東入間警察署規制担当に対して当該区間の大型車両の走行規制がかけられる可能性があるか確認したところ、難しい旨の回答をいただいております。</p> <p>町側で対応出来るものとしましては、立て看板(「大型車両の通り抜けはご遠慮ください」等)の設置や路面標示(「スピード落とせ」等)になります。これらについては検討させていただきます。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤1	道路・交通	県道三芳富士見線の歩道整備について	<p>県道三芳富士見線の歩道を拡張(信用金庫よりダイエー間)してください。</p> <p>なぜ富士見市側(ダイエーから東上線踏切まで)は歩道が完備されているのでしょうか。</p> <p>フルインター化されると大型車も増加し、また交通量も増え、歩行者は常に交通事故の危険にさらされているのが現状です。一日も早い対応をお願いします。</p>	<p>【道路交通課】</p> <p>現在、歩道の整備については、埼玉県において県道さいたま・ふじみ野・所沢線及び県道三芳・富士見線を部分的に拡幅整備しております。</p> <p>今年度、埼玉県では「ベルク付近からダイエー付近の区間において拡幅整備の事業を進める予定である。」と聞いています。フルインター化により、スマートICにアクセスするための道路の交通量は増加すると思いますが、埼玉県に対しては、更なる安全対策を含め、県内でも当町の優先度を高めて整備していただくよう今後も引き続き、要望しているところです。</p> <p>富士見市側(ダイエーから東上線踏切まで)の歩道整備については、「鶴瀬駅西口土地区画整理事業」によるため、早く整備されています。</p>
藤1	道路・交通	江川の暗渠化について	<p>今年度も暗渠化について富士見市との折衝をお願いいたします。</p>	<p>【道路交通課】</p> <p>富士見市と協議・調整を行いましたが、暗渠化については、当面の間、実施はしない方向でまとまりました。理由として、暗渠化された部分を歩行することは防犯上、構造上の両面で支障をきたすことや、昨年8月の台風9号で町内に湛(たん)水(すい)被害があった際、みよし台のサンライトマンション沿いにある暗渠で歩行可能な唐沢堀では、水流の圧力により、歩行部分のコンクリート板が外れるなどの被害があり、歩行不可能になるほどの大変危険な状況でした。</p> <p>このような安全性への影響を考慮した結果、避難経路と位置付けるには困難であり、非歩行で対応することが最善であるという結論になりました。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤3	道路・交通	川越街道から旧上沢小学校へ抜ける道路(町道幹線16号)の堅牢化について	川越街道よりセブンイレブンの交差点から入り、旧上沢小学校へ抜けていく道だが、交通量が多く道路の傷みが激しい。子どもが多く通る道でもあるので歩道の整備や道路の堅牢化をお願いしたい。この話は何年も前から出ているが、対応はどうなっているか。	<p>【道路交通課】</p> <p>幹線16号線では、一部の区間が区画整理により歩道が整備されています。川越街道から東側部分については、今年度中に部分的ではありますが、拡幅に向け調査し、地権者に交渉をする予定であります。また、道路の傷み(いたみ)についてですが、こちらも部分的な修繕を行っておりますが、ある一定の区間において、歩道整備や修繕、改良を行いたいと考えています。また、幹線7号線(都市計画道路/鎌倉通り)から東の富士見市方向へ向かう区間については、急に幅員が狭くなるにもかかわらず、通過交通量も多く、車両のすれ違いができない状況があり、歩行するのに危険であることは把握しております。現在、この沿線は住宅等が密集しており、大規模な拡幅整備ができない状況であり、開発行為等が発生した場合に地権者に協力をいただきながら、部分的ではありますが拡幅していきたいと考えています。当面の間は、事故が発生しないように安全対策を検討していきます。</p>
藤3	道路・交通	ライフバスについて	藤久保三区へ循環運行するライフバスは通るのか。通るならば運行開始時期を教えてください。	<p>【政策推進室】</p> <p>ライフバスの路線変更については、平成30年4月から新路線によるバス運行ができるよう現在調整を行っているところです。なお、運行にかかる具体的な運行開始日時が決定いたしましたら、改めて広報やホームページ等を通してお知らせをいたします。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
北1	道路・交通	三芳ICについて	三芳スマートICの今の交通量はどのくらいなのか。フルICになった場合はどのくらいになるのか教えてほしい。	<p>【道路交通課】</p> <p>三芳スマートICの現在の利用台数につきましては、1日あたり5,000台を超える利用がされております。フル化になった場合には、1日あたり7,200台の利用を見込んでいます。それに伴い周辺の道路では、幹線3号線、幹線14号線、県道の利用増加が見込まれておりますが、渋滞による迂回が生じないように交差点改良を行うとともに、生活道路への進入抑制対策を図っていく予定です。</p>
上2	道路・交通	三芳スマートインターフル化について	現時点での三芳スマートインターの進み具合を教えてください。また周辺交差点の整備の状況はどうなっているか。	<p>【道路交通課】</p> <p>三芳スマートICにつきましては、詳細設計、用地関連調査を終えた箇所から用地交渉に入っております。本体周辺部分につきましてはNEXCO東日本との共同事業として、高速道路の規格に照らしながら、設計作業が進められるとともに、周辺地権者の皆さまにご理解をいただけるよう信頼関係の構築に努めているところです。また周辺交差点につきましては、町道幹線3号線において三芳中学校前交差点の工事に着手しました。今年度はセントラル病院前交差点の工事にも着手する予定です。多福寺前交差点、JA共販センター前交差点は地権者交渉を進め、来年度に工事の着手を予定しております。</p>
上2	道路・交通	三芳スマートインターフル化について	県道の歩道の完成はどうなっているか。	<p>【道路交通課】</p> <p>県道の歩道整備につきましては、埼玉県にも早期完成を要望しており、平成28年度は一部用地取得がされたところです。今年度も予算が増額されており、広範囲で用地関連調査を実施し、地権者の交渉を進め、用地を取得していくことを確認しております。埼玉県では、多福寺前交差点や三芳中学校前交差点につきましても、精力的に整備を進めていただいておりますが、県道の歩道整備につきましても、早期に実現されるよう、引き続き要望していきたいと考えております。</p>
竹1	道路・交通	幹線6号線の劣化に対する修繕について	去年質問したが、セイコーマートからスエヒロに抜ける一方通行の道路(幹線6号線)が劣化しており、雨天時等非常に困っている。今の対応状況を伺いたい。	<p>【道路交通課】</p> <p>現地調査により平成28年度中にU字側溝の蓋の交換を行いました。平成29年度については舗装の傷みの激しい箇所について部分的ではありますが、まず6月中旬工事完了を旨に竹間沢315南側付近の50m区間の舗装修繕を行います。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
竹1	道路・交通	通学路の安全対策について	子どもたちが通う通学路に歩道がなく、危険な状態の道路がある。歩道の設置やスクールゾーンを設けるなどしてはどうか。こうした周辺の通学路での安全対策について伺いたい。	<p>【道路交通課】</p> <p>警察及び担当各課との協議確認により、通学路の安全対策が必要な個所につきましては、通学路整備計画を立てて出来る限りの対応をしております。本来、通学路の安全確保として歩道を設置するのが最良の策とは思われますが、歩道を整備する土地の確保が難しい状況にあります。</p> <p>また、スクールゾーンを新たに設けることにつきましては、警察の管轄となり東入間警察署、県警本部にて交通規制基準に基づき、協議や現地調査等を行い、道路や沿道環境等を総合的に勘案し、県公安委員会へ上申され判断されます。</p> <p>現状、歩道が無いまたは狭い通学路の安全対策について、通学路部分の段差の解消や、歩道設置の代替対策として注意喚起の路面標示や立て看板により対応しております。</p>
藤5	道路・交通	都市計画道路の安全対策について	<p>富士塚土地区画整理の進展に伴い、鶴瀬駅西口から川越街道までの都市計画道路(みらい通り/鶴瀬駅西通り線)が間もなく完成すると思われれます。川越街道との交差点はどのように整備されるのでしょうか。また交通安全対策はどのように講じられるのでしょうか。</p> <p>都市計画道路が完成の暁には川越街道より西側の道路利用者も増加することが考えられますが、安全対策等どのような対策が講じられるのでしょうか。</p>	<p>【道路交通課】</p> <p>都市計画道路(みらい通り/鶴瀬駅西通り線)と川越街道の交差点につきましては、平成29年度に交差点改良工事による道路整備を計画しており、川越街道下り線から都市計画道路(みらい通り/鶴瀬駅西通り線)への右折帯の設置や川越街道の既設横断歩道を北側に移設するなどの工事を行う予定となっております。また、交通安全対策としては、交差点改良工事に併せて現在の押しボタン式信号機から定周期型信号機に変更することとなっております。</p> <p>また、川越街道より西側の町道幹線19号線につきましても、上記交差点改良工事に併せて川越街道から約40m区間の道路拡幅工事を行います。この交差点改良工事により歩行者並びに車両等の通行がより安全かつ円滑に確保出来るよう整備してまいります。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤5	道路・交通	ライフバス再編に伴う交通安全対策について	<p>ライフバスの新路線(第二保育所前のスクールゾーン指定道路を通過する)が検討されていると聞いていますが、当該道路には大変見通しの悪い、危険な交差点(T字路)があります。交通安全対策等についてどの様に考えられているのか説明をお願いします。なお、この路線を含めライフバス路線の再編計画があるのであれば説明をお願いします。</p> <p>また、デマンド交通の試行結果がライフバスの再編にどのように反映されるのでしょうか。将来の三芳町のあるべき公共交通についても併せて説明をお願いします</p>	<p>【政策推進室・道路交通課】</p> <p>町といたしましては、デマンド交通試行運転の成果分析結果や今まで町に寄せられている住民要望、現在バス路線が通っていない地域の解消などの点を反映させたかたちで、町から補助を行っているライフバスの路線の一部を再編いたします。</p> <p>ライフバス再編に伴う路線変更における安全対策につきましては、東入間警察署とも相談し、助言をいただきながら進めてまいりたいと考えております。</p> <p>ライフバス再編における具体的なデマンド交通試行運転の成果の反映につきましては、デマンド交通試行運転において多くの移動需要があった部分を中心に路線を形成いたしました。</p> <p>また、町といたしましては、ライフバスの再編だけでなく、中長期的な施策としてバス交通では救えない方々への対策も今後研究検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、幹線5号線の第2保育所付近で一部狭隘の部分については、約10年前から地権者との交渉を継続している状況です。引き続きしっかりと交渉してまいります</p>
藤6	道路・交通	ライフバスの路線変更(現在の7番線)について	<p>①(町道幹線16号線について)川越街道から藤久保六区集会所に向かう際、押本材木店の道の危険性(逆方向の場合も)</p> <p>②道路の幅が狭い(上記の道)</p> <p>③歩道が片側にしか無い(上記の道)</p> <p>④バス停にバスが停まった時に後続のクルマの渋滞が予想される。</p>	<p>【政策推進室・道路交通課】</p> <p>幹線16号線では、区画整理により一部の区間の歩道が整備されています。川越街道から東側部分については、歩道のない箇所について今年度中に一部ではありますが、拡幅に向けて調査し、地権者に交渉をする準備を進めています。また、その他の区間についても拡幅の検討をします。</p> <p>現段階の予定ですと路線変更後のライフバスの運行本数は、1時間に1本程度と考えておりますので、バス停の設置に伴って、頻繁に渋滞等の問題が起こることはありません。また、バス停においても乗降にかかる時間は長くても数分程度であることなどから、大規模な渋滞が生じる可能性は低いものと考えております。</p> <p>バス停を設置することにより、地元の住民の移動の利便性も向上されることも期待される場所ですので、バス停設置について、ご理解いただければと考えているところです。</p> <p>しかしながら、もし区としてバス停に伴う渋滞をご懸念されるのであれば、協議の上でご検討させていただきます。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北2	道路・交通	スマートIC	<p>スマートICフル化により、大型車や交通量の増加が懸念される。塩野建設の通り(幹線15号線)は歩道がなく、あそこも通り抜けになると思うが、歩道の設置はどうなるか。併せて、幹線5号線との交差点のローソンの向かいの倉庫が解体されているが、用地を買収して歩道の設置を考えてはどうか。</p>	<p>スマートICのアクセス道路に関しては、ある程度想定して交差点の改良や歩道整備を行っております。今、話にあった幹線15号線はアクセス道路にはなっていないので、通行規制や他のところに誘導するような対策を考えています。歩道に関しては検討したが、建物が多く建っているのが難しいかと思えます。解体された倉庫のところは、検討し始めておりますが、歩道を付ける場合にはその周辺の歩道整備も考えなくてはならないなどの課題もあります。用地を買収して移転してもらってとなると時間もかかります。</p>		
藤2	道路・交通	スマートICフル化と道路拡幅	<p>道路に歩道がない場所が多い。例えば三芳中学校では片側には歩道があるが、もう片側にはない。上り線への入口にあたる道路になると思うのだが、安全性が確保されていない状況で大型車も開放するという事は危険極まりない。まして、幹線3号線は一部通学路にもなっている。傘をさして歩道を歩くとなると、大型車通行時には傘が持っていかれてしまうのではないかと。安全性が確保されてからこの事業をやるべきだと思う。加えて、藤久保交差点からイムス三芳病院の間の県道でも歩道ができていない。県はどのように考えているのか。詳しく話を聞きたい。</p>	<p>町がスマートICをフル化したいと言っても、安全面を担保できなければ警察に了承してもらえません。協議を進めながら、フル化の際にはどこの道路を使ってアクセスするのか、ということも交通量調査を行っています。その中で歩行者の安全対策を指示された箇所、三芳中の周辺などは、交差点改良や道路の拡幅などを進めています。藤久保交差点からイムス三芳病院の間の県道もアクセス道路になっておりまして、県に依頼して理解を得られております。早急に対応したいと考えています。安全第一で、町だけでなく周辺市も巻き込んで、広域できちんと詰めているところです。</p>		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤2	道路・交通	鶴瀬駅西 通り線の 信号設置	鶴瀬西通り線が整備され、次第に使い勝手が良くなっており助かっているのだが、交通量が激しく、朝や夜の通勤・帰宅の時間帯にスピードを飛ばしている車が多く見受けられる。昼の時間帯にも高齢者が渡りづらそうにしている様子を見かける。なんとか途中で信号が設置できないか。	西通り線は交通量が増え、真っ直ぐな分スピードも出ていると感じています。以前からしまむらのあたりに信号機の設置を依頼されており、何年にもわたり要望しているところです。二市一町の中でも設置できる信号の数が決まっているうえ、警察としては信号を少なくしたい意向もあるようにみられます。要望ももちろん続けますが、一方で交通マナーを守る意識付けも、警察と一緒に進めていきたいと思っています。	道路交通課	【鶴瀬西通り線の信号要望状況】 鶴瀬駅西通り線と町道藤久保54号線の交差点部での押しボタン式の信号機の新設として平成29年度信号機設置要望を東入間警察署長宛に提出していますが、現状設置に至っていないため、引き続き要望していきたいと考えております。担当課としましては、すでに一部対応しているところではありますが、通行車両のスピード抑制や交差点があることが認識出来るような区画線や看板の設置を現場の状況を確認並びに東入間警察署との協議の上で検討していきたいと考えております。
藤2	道路・交通	西通り線 と川越街 道の信号	現在、鶴瀬西通り線と川越街道の信号は押しボタン式だが、拡幅されたために押しボタンでなくなったと勘違いしている方がいる。待っているとクラクションを鳴らされたり、後ろから強引に追い越して右折していく車がいるなど乱暴な運転も見受けられる。横断歩道も新しくなるということで、わずかな期間ではあるが、押しボタンの徹底か、あるいは押しボタンを取ってしまってもいいのかなと思う。	現状は中途半端な状態ですが、いずれ定周期信号になる予定です。それまでは誤解される方もいらっしゃると思いますので、徹底してわかりやすい案内をしたいと思っています。	道路交通課	【西通り線・川越街道交差点の信号の現状周知について】 平成29年度中に川越街道と鶴瀬駅西通り線並びに本田書店前の道路との交差点改良工事の着手を予定しており、工事に併せ現状の押しボタン式から定周期式の信号機に変更することになっております。工事完了までの間につきましては、押しボタン式信号の取り扱いとなる為、通行車両の川越街道交差点へ進入にあたっての一時停止や左右確認などの徹底を促せるような看板等の設置を現場の状況を確認の上で検討していきたいと考えております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤2	道路・交通	西通り線の自転車交通安全マナーについて	<p>鶴瀬西通り線を使って駅へ向かう自転車(主にご婦人が多いのだが)が、車並みにスピードを出している。黄色のブロックが歩道内にあるのだが、あれをセンターラインと勘違いしているケースがあった。</p> <p>また、歩道を並んで歩いていたら自転車にマナーが悪いと言われたケースもあった。町の取組の説明があった中で環境美化のモデル地区の話があったが、それにならって、西通り線などを交通安全マナーモデル地区にすることはできないだろうか。</p>	<p>交通事故の死亡事故で多いのが、自転車、高齢者です。昨年中、二市一町の中では3件の死亡事故があり、今年はずでに2件ありましたが、全て二輪・自転車が関係する事故でした。交通安全ルールを守ってもらうことが大事です。自分も自転車に乗りますが、サイクリングロードで接触事故を見たことがあります。その中で、町では自転車の安全な利用を促進する条例を制定したところでありまして、自転車の交通ルールを徹底していこうと取り組んでいるところです。町内で歩道と自転車通行帯があるのは西通り線のみですので、モデル地区として啓発していくということは大事だと思うので検討していきたいと思います。</p>	自治安心課	<p>【自転車の交通安全マナー改善及びモデル地区の検討について】</p> <p>鶴瀬駅西通り線の歩道は、自転車通行が可能な路線です。このため、自転車自体の危険よりも歩行者に怪我を負わせる可能性があります。年1回藤久保公民周辺で行っている交通安全の街頭活動において、自転車マナーの向上を重点化していきたいと思います。</p>

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤4	道路・交通	道路整備	<p>三芳町を良くするには住環境を良くすることが一番大事だと思う。町に来た友人に三芳の道路が狭いと言われた。南北を縦断するのはけやき通りと川越街道しかなく、その道だけでは移動できないから細い道を使うが、唐沢小学校の前の細い道すら大型車が通る。そこを周りきれないと、マンションの方の通りを通る。</p> <p>事業者が多いということは固定資産税が多く、故に不交付団体なのだと思うが、大型車も多いということ。上富の方も、中学生が自転車通勤したり幼稚園バスが通る横をトレーラーが通る。何か起きる前に何とかしなければならぬ。簡単なことでなく、国や県とも関係もあると思うが、町が積極的に危ないところは単に道路の整備というより将来を考えてやっていかないといけない。重要な拠点を考えて、資産にもなるのだから借金してでも土地を買って、道路中心に発展させるべきである。スマートICは反対だし、賑わいバザールは作る必要がない。道路がないのに誰が来るのか。来た人が良いというよりも住環境が大切。狭い道路を、特に通学路近辺の安全を最優先で改良していただきたい。ケヤキ並木はとても立派で素晴らしいところだが、朝、小学生がトレーラーの横を通っているという状況は、大至急変えていただきたい。</p>	<p>スマートICのフル化をすることによって周辺の歩道や交差点の改良が一気に進んでいるので、相乗効果でインフラ整備がすすんでいるということもあります。ケヤキ並木通りは川越県土の事業で進めていて、ここにきてやっと例年以上に予算をとってもらえたので、あそこも目に見えて変わることと思います。スマートICにアクセスする道路もしっかり整備ができるようになります。</p> <p>また、三芳町は駅がなく、鶴瀬駅やみずほ台駅の方に人口が張り付いております。こちらの方から見ると関越自動車道があって三芳PA、スマートICがあり、ここを西の玄関口にして、活性化していこうと考えております。利用される方は、三芳の住民もそうだが、もっと広域的に多くの方に使っていただこうと思っております。</p> <p>大きな道路で言えば、20年以上前に都市計画道路を計画しており、当時と比較して状況が変わってきているので、計画そのものを見直しをしていかなければなりません。本当に必要なところに必要な道路をしっかり作っていく必要があると感じております。藤久保の3つの区画の整備がここで終わるので、今、質問にあったみなさんが安全に利用できる道路整備をしていくような、ハード面に力をいれていこうとも考えております。</p>		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤4	道路・交通	デマンド交通	デマンドが廃止されたため高齢の方が苦労している。中央公民館に移動するのに、本当は免許返納したいが、雨の日は行くのが大変なので車で行くことになる。駐車場も少ないと感じる。	利用者数に応じて増やしていく必要はあると考えております。デマンドは2年半実施しましたが、利用者があるエリアと人が固定化されており、上富や竹間沢は思ったより利用者が少なく、全体を見てやめる方向になりました。ただ、高齢者の足の確保は重要な政策なので、新しいライフバスを通せばよいと思っているわけではありません。財政的な部分をしっかり見て、ばらまきではない、本当に必要な人に使ってもらえる交通対策を模索・検討しております。		
藤4	道路・交通	道路整備	ベルクの西から学校へ行く通学路のあたりの横断歩道の線がほとんど消えてしまっている。小学生がどこを渡っていいかわからなくなっている。町のものではないのだろうが、町の方から言っていただきたい。一度、要望をしているのだが、早く対応していただきたい。	確認いたします。	道路交通課	【ベルク～唐沢小の間(幹線7号線)の横断歩道について】 薄れてしまった横断歩道の区画線の引き直しについて、東入間警察署に問い合わせたところ、県警の所管であるとのこと。現在、東入間警察署を通じて県警に対応を依頼しております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	道路・交通	公共交通	子育てに関してはまちの取り組みとして充実してきた面もあるが、高齢者にとってはバス券もなくなり、また免許を返納した高齢者も多い。ふれあいセンターはおろか、橋本医院方面に歩けなくなった人も多くなった。町政としてそちらの方にも力を入れてもらいたい。	住民意識調査で交通の便の悪さについては把握しております。政策研究所で公共交通について研究し、デマンドタクシーとコミュニティバスの2つの案が出ました。全庁的な交通弱者の助けとするためにデマンドタクシーを採用しましたが、利用者エリアが限られたこと、財政的な負担のためから止めさせていただきました。他の自治体でもタクシー券サービスをやっている所がありますが、担当者に聞くと財政的な負担は大きいといえます。やがては財政破綻に繋がるリスクもあります。これからライフバスの再編で、通っていなかったところにバスを通しますが、これが最善とは思っておりません。他の自治体も参考にしながら、財政に負担を与えない範囲でよりよい方策を模索していきます。		
藤1	道路・交通	旧イムス近くの信号機	県道のサイクルショップリングジャパン前の信号だが、信号が変わるスピードが早く、高齢者にとって厳しい。警察の範疇だとは思いますが対応をお願いしたい。	警察に問い合わせるよう言っておきます。	道路交通課	【サイクルショップリングジャパン前の信号調整】 所管は東入間警察署となる為、対応が可能となるか、確認していきたいと考えております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	道路・交通	スマートICの安全対策	スマートICで税収増を見込んでいると思うが、町の支出も相当あると思う。安全対策等にかかる支出を知りたい。	安全対策は交通量調査など、警察と連携してやっております。全体の費用で22億円かかりますが、NEXCOが払う分と補助金を引いて、町の負担は4億5000万円ほどと記憶しています。 自治体同士で企業誘致が過熱しており、三芳に企業が留まることと新しく来てもらうことは、雇用やイメージアップの面でもとても重要です。1haの企業誘致に成功すると年間3000万円の税収があります。三芳中近くの幹線3号線を自然共生産業ゾーンとしており、15haの誘致できる土地がございます。5haの誘致に成功すれば3年で元が取れる見通しです。安全対策と共に誘致に力を入れていきたいと思っております。 詳しい数字は区長を通じてお伝えします。	道路交通課	【スマートICフル化に伴う支出の総費用】 スマートIC事業費9億円のうち、約7億円程度が周辺道路の改良事業となる計画となっております。補助金を差し引くと3.5億円程度の支出となりますが、短期間に複数の箇所を同時に道路改良を実現できることも、この事業の効果と捉えています。 現在も、さらなる安全性を求め、周辺自治体と周辺道路改良を検討しておりますが、引き続き、道路環境の向上に努めてまいりたいと考えております。
藤1	道路・交通	橋本医院～唐沢小の道路の拡充	幹線7号線の、橋本医院から唐沢小に向かった先の坂を上ったところに、5mほど急に道幅が狭まっている箇所がある。車と自転車が接触しそうになるなど危険なため、道路の拡充をお願いしたい。	自分も自転車で通って危険であることは感じております。藤久保、富士塚、北松原3つの土地区画の整理が終わった後、優先順位を高めて検討していきたいと考えております。	都市計画課	【幹線7号線(鎌倉通り)の橋本医院以南の拡幅】 現在都市計画道路の整備につきましては、区画整理事業を中心に行っている状況です。区画整理事業も平成32年度を持ってすべての組合の事業が完了予定であり、藤久保小学校付近の道路整備を行うと県道以北(ふじみ野市境を除いて)の整備が完了となります。今後は、県道より南側で352-1番地先の交差点までの用地交渉を進めていきたいと思っております。
藤1	道路・交通	新しい公共交通について	福祉関係の仕事をしているが、車の免許を返納し、足がなくて困っている高齢者が多い。ライフバスには段差があり、シルバーカーを持ち上げて乗れない高齢者がいる。それも踏まえて高齢者が外に出ていけるような、新しい交通手段を考えてほしい。	おっしゃる通りで、外に出ると元気になれると思うのと、そういう社会をつくっていかねばならないと思っております。先ほど説明したとおり、これで満足したとは思っておらず、必要な人に行き届くようなサービスを考えていきます。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	道路・交通	ライフバス再編時のバス停案	ライフバスの再編についてはとても期待しているが、バス停の青写真はあるのだろうか。希望としては人口密度も高い藤久保3区集会所前に停まってほしい。北松原第2公園の完成も期待している。	公園については今年度中にできる予定です。 ライフバスについては、他にも通行予定の区や1路線無くなってしまいう区もあり、この機会に意見を聞いております。その意見のトータルで決めていきたいと考えています。関係する区の皆さんにはお話をしながら、警察や交通関係機関と調整して4月開通を目指していますが、ずれ込むこともございます。 バス停についてはある程度の案はあります。それが決まってから皆さんのご意見を聞いていきたいと思ひます。安全に停車でき、多くの方が利用できる場所に置きたいと思ひます。また、当初はここまで来て戻るルートも考えて試走もしてみましたが、安全性が担保できなかったためにルートを再考しました。そのため、ご希望の場所はルートから少し外れてしまっています。		
藤3	道路・交通	ライフバス再編ルート	幹線16号線から7号線に右折するのは待機スペースが狭く危ないのではないか。	あまり危険性は感じられませんでした。必要に応じて停止線を下げるなど考えたいと思ひます。ライフバスとも協議し、大丈夫だろうとの見解も得ています。 ただし、押本木材の周辺については拡幅交渉の準備を進めています。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	道路・交通	公共交通対策	<p>広報でデマンド交通の廃止が知らされ、一方でライフバスの再編を来年度を目安に進めるとのことだった。しかし、デマンド交通をアテにしていた人は、高齢者や障がい者などには結構いて、都合があって切り替えるのだろうが、施策と施策の間がなぜできてしまったのだろうか。財政には少し余裕があるように見えたが、ライフバスの再編までの間、デマンド交通を続けることがなぜできなかったのか。</p> <p>高齢者などが買い物で無理して自転車を使い、縁石等で転び寝たきりになってしまう事例もある。施策と施策の間を空けないでほしい。できれば現状のものを継続してほしい。</p>	<p>実は、それを一番懸念しておりました、ライフバスの再編を早められないか、あるいはデマンド交通を少しでも継続できないかと、執行部とも考えておりました。結果として止める方向性としたのは、1年間実施するにしても財政的な負担があります。大変申し訳ないのですが、ブランクを空けるが何とか待っていただくことにしました。ただ、何もしないということではなく、高齢者免許証返納の支援や障がい者には福祉タクシーなど、いくつか対策を打つことにもしました。</p> <p>行政は一度始めたことを中々やめることができず、それがネックになります。切れ目なく行うこともよいのですが、早めに止める決断をしたなら止めることが大事かと思えます。続けることでさらに期待も大きくなってしまうこともありますし、導入準備もありますのでブランクが空いてしまいました。また、この再編は町だけではできない許認可の関係があります。ライフバス、警察、省庁と調整しながらなるべく4月に進めたいと思えますが、予定としか言えない状況です。さらに、関係する区には今回ご意見をお聞きしているのですが、大きな反対があれば進めません。そうした事態があり遅れてしまう可能性もご理解ください。</p>		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	道路・交通	デマンド交通の期間延長	(前の質問に続けて)署名を行って要望書を出したら、再編が早まったりデマンド交通が延長できたり、状況は変わるのか。我慢が多く、行政の思うとおりに動かされている感じがする。	行政も苦勞して住民に喜んでもらいたい、便利にしたい、と動いております。もし要望を上げたとしても、新年度予算として補助金等も費用を取っていないため今年度中に行うことはできません。利用者にもアンケートを取りましたが、ある程度はご理解いただいたのと、利用者も限定的でタクシー代わりに使っている方が多くなってしまっていました。その上利用者のエリアも限られているということもありまして、全体を見て判断をしなければならないという苦肉の判断だったということもご理解いただきたいと思ひます。		
藤3	道路・交通	幹線7号線の歩道	歩道が広がったことで便利になったが、セキ薬局から南に少し行ったところの歩道が狭い状況である。また、歩道が高くなっているところもある。自転車でも少しふらつけば落ちてしまいそうである。何故あの場所だけそうなっているのか。加えて、歩道が狭くなってしまうのであれば、縁石ではなく、公民館側のように柵で対応できないか。	(道路交通課長) 当該の場所は今年度中に整備をします。柵は計画にはない状況ですが、歩道は広がります。また、その西側も未整備ですが、合わせて今年度整備予定です。もう少々お待ちください。		
藤3	道路・交通	マウントアップの歩道	幹線7号線の藤久保小学校付近は歩道と車道の高低差が大きいのだが、なぜあれほど高低差があるのか。直らないのか。	(道路交通課長) 当該の場所は藤久保小学校のグラウンドと道路の元々の高さなどを見ながら、区画整理事業の一環として工事を行ったところですが、段差があるところや、擦り付けが急なところもあると思ひます。今のところは検討していきたいと思ひます。	道路交通課	【幹線7号線の歩道のマウントアップ解消について】 現場確認の上で、車道と歩道の高低差を少しでも解消出来ないか検討し、可能な限り修繕していきたいと考えております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北1	道路・交通	街灯	北永井には街灯が電柱に2本に1本しか付いていない。街灯は電柱1本に1個にしてほしい。また、歩道と逆側に付いているので、歩道が暗いので、LEDに角度を付けるなど対策をお願いしたい。	今年度、防犯灯のLED化を実施する予定です。どこにどれだけ必要かを調べつつ、ご意見を参考にしながら進めていきます。		
北1	道路・交通	ライフバス	ライフバスを所沢方面に伸ばしてほしい。	ライフバスは営業（運行許可）できるエリアが決まっているため所沢まで行くことができません。デマンドではエスティまで行けるようにしていたのだが、所沢など東西に行く足がないことは問題であります。ららぼーとができるとき、所沢から三芳を通過するという案があり期待していましたが、富士見市とららぼーとの折り合いがつかず無くなりました。今後の検討課題としていきます。		
北1	道路・交通	洪水・水害	北永井154号線（幹線4号線～三芳家具間の道）の雨水対策をして欲しい。	昨年も台風による冠水や砂川堀が崩れるなど予測外の異常気象が起きていました。今までは水道、下水も含めた計画はありませんでしたが、今後対策を考えていきます。担当課に伝えて対策します。	道路交通課	【北永井154号線の雨水対策】 昨今のゲリラ豪雨や台風の影響により、排水溝の詰まりにより、浸水の被害が増加しております。町内の排水溝等を出来る限り清掃しているところではありますが、重点箇所として関係課と協議し、対策案を検討していきたいと考えております。
北1	道路・交通	ライフバス	ICカードを使えるようにしてほしい。	要望をライフバスに伝えます。	政策推進室	【ライフバスでの交通系ICカードの導入について】 町からもライフバスに対してお話したことはございますが、交通系ICカードを利用するためには多額のイニシャルコストが必要となるため導入は困難であるとの回答を頂いております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北1	道路・交通	スマートIC	三芳中学校交差点に右折レーンができるようだが、大型車2台が止まっても平気なスペースがあるのか。	担当課に確認し連絡します。	道路交通課	県道、幹線3号線ともに、右折レーンに大型車が2台並んだ場合でも30メートル滞留可能となっているので問題はありません。また、右折レーンに大型車がいた場合、直進・左折レーンを大型車が通ることについても問題ない幅員となっています。
上2	道路・交通	歩道の安全確保について	今年の3月に、小学生が多福寺の交差点近くで交通事故に遭った。小さい子どもが遊びに出かけるのをよく見かけるが、多福寺交差点の拡幅から車の流れが変わり、途切れがなくなり危険であると感じる。街路樹の草が飛び出て、自転車がそれを避け、それをトラックが避け、交通の乱れが生じている。役場では把握をしているか。県にお願いしているかと思うが、事故があつてからでは遅いので対策をお願いしたい。	藤久保4区からも交通事故に関する話が出ました。県の方からの予算も、今年度から増えました。今年から副町長も来て県とのパイプも出来つつあります。職員にも早めに管理していくよう喚起いたします。スマートICに関わる整備とセットで取り組んでいきます。	道路交通課	【幹線14号線多福寺近くの交差点の安全確保について】 現在、多福寺交差点では右折レーンの設置に向けた道路改良事業が進められております。埼玉県と連携し、警察との協議の上、道路環境を整えていきます。 【街路樹の管理について】 県道の管理者である川越県土整備事務所へ随時報告を行い、早急な除草作業を要請します。また町道幹線14号線については、植樹帯の除草を行い、安全に通行できるように努めます。
み1	道路・交通	公共交通について	デマンド交通を利用していたが無くなってしまった。他の地域は三芳町を参考にしてデマンド交通のようなものをやり出していると聞いているが、三芳町では交通について今後どのようにしていくのか	住民意識調査で交通の便の悪さについては把握しております。政策研究所で公共交通について研究し、デマンドタクシーとコミュニティバスの2つの案が出ました。全庁的な交通弱者の助けとするためにデマンドタクシーを採用しましたが、利用者とエリアが限られたこと、また国から出していた補助金がなくなることで財政的な負担も大きくなるため辞めることを決断しました。他の自治体でも交通サービスをやっている所がありますが、担当者に聞くと財政的な負担は大きく、やめるにやめられないと聞きます。これからライフバスの再編で、通っていなかったところにバスを通しますが、これが最善とは思っておりません。他の自治体も参考にしながら、財政に負担を与えない範囲でバス券やタクシー券もあると思っております。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
み1	道路・交通	スマートIC	所沢に大きな物流施設が立地をしている中で、三芳スマートICをフル化したら、所沢が有利になるだけでは。またインター化に20億円を投資しても無駄になるのでは	誘致も大事ですが、留置も重要であり、圏央道周辺が便利になって、そちらに移動する企業も増えている状況で、その中で、町内の企業からは「ここに残りたい」とも話を聞いています。三芳には需要があると考えております。留置していくためには利便性も大事で、スマートICフル化で利便性が上がることで留置につながります。 費用について、全体の費用で22億円かかりますが、NEXCOが払う分と補助金を引いて、町の負担は4億5000万円ほどです。自治体同士で企業誘致が過熱しており、三芳に企業が留まることと新しく来てもらうことは、雇用やイメージアップの面でもとても重要であります。1haの企業誘致に成功すると年間3300万円の税収があります。三芳中近くの3号線を自然共生産業ゾーンとしており、15haの誘致できる土地がございます。5haの誘致に成功すれば3年で元が取れる見通しです。安全対策と共に誘致に力を入れていきたいと思っております。		
み1	道路・交通	道路	東京方面から国道254号線を使いサンライต์マンションまで来る友人が、どこで曲がるか分からず、藤久保交差点まで行ってしまった。みずほ台駅からの通りは昔からずっと変わっていないため、拡幅するなどして分かりやすくしてもらいたい。	藤久保の区画整理が終わった後に、竹間沢の道路を改良することや、通西に企業誘致することなど、全体の中で考えていきます。	道路交通課	【国道254号線の案内標識】 国道254号線への案内標識の設置については、所管が川越県土整備事務所となる為要望内容を伝え検討してもらおうよう考えております。道路拡幅整備に関しては、都市計画道路となっており、現状として事業決定に至っていないこともあり、中々着手出来ない状況であります。事業決定も含め、なるべく早期に着手出来るように関係各課と今後協議検討していきたいと考えております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
み1	道路・交通	エコパへのアクセス	エコパに行く方法を考えてもらいたい。もっといい方法はないか。	行くのが不便なことは感じております。バスが運行して数年経ったので、そのデータを検証し、住民の意見を聞きながら検討いたします。	環境課	【エコパバスの運行状況】 エコパの送迎バスは、A・B二つのルートを一日一往復しています。それ以外は自家用車に頼っているところですが、住民からの意見・要望をエコパに報告して、改善を求めています。
上1	道路・交通	県道	小中学校の通学路となっている県道さいたま・ふじみ野・所沢線で歩道の整備などは予算に入っているか。安全な道がほしい。	スマートICが整備されることで、周辺道路の整備が進む面もあります。県道のため県の予算で整備を行うこととなりますが、今年は予算が増えたため、整備が進んでいくと考えています。		
上1	道路・交通	県道	県道さいたま・ふじみ野・所沢線はなぜ虫食い状態で整備されているのか。	以前、南から北に向けて県道の整備が進む中で用地交渉がうまくいかなかった所は残ってしまったため、虫食い状態になってしまいました。スマートICの整備がされる中でアクセス道路となる県道整備のため、再び用地交渉をしていくことになっております。		
上1	道路・交通	スマートIC	スマートICの土地買収の進捗状況は	(総合調整幹の回答) 周辺の交差点改良とパーキングエリア付近の新設に関する土地買収を行っており、場所によって進捗が変わっています。		
上1	道路・交通	スマートIC	多福寺交差点はどのようになるのか。	県道には両方に右折レーンができます。パーキングエリアから出てくる車用に町道14号線にも右折レーンができます。		
上1	道路・交通	スマートIC	多福寺交差点の所沢方面からスマートICに向かう側の町道を拡幅する予定はないのか。所沢からスマートICを利用する大型車で渋滞になるのではないのか。	右折レーンは考えていませんが、右折車が滞留できるような形で右折の非常帯を作ります。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上1	道路・交通	スマートIC	交通量に応じて信号を変えるシステムなどは導入できないのか。	信号については管理しているのが警察のため、信号の設置等はすぐにできる部分ではありませんが、警察と引き続き調整させてもらえればと思います。	道路交通課	【交通量に応じて信号を変えるシステムについて】 所管は東入間警察署となる為、導入が可能となるか、確認していきたいと考えております。
上1	道路・交通	スマートIC	関越の側道から地蔵通りに出られるようになってきているが、その部分はどうなるのか。	その部分についてはスマートICの関連として整備する予定はありませんが、スマートICが開設した後に必要があれば整備も考えます。		
竹1	道路・交通	スマートICフル化に伴う町の財政負担	スマートICフル化に関して、町は9億円の税金を投入するとのことであるが、この額をもっと安くできないか。	町が負担すべき額は9億円であるが、そのうち1/2は社会資本整備総合交付金という国庫補助がある予定であり、町の負担は4億5千万円となります。 このように町に一定の負担はあるが、このスマートICフル化を進めることにより、周辺の交差点整備をできます。企業を誘致することにより、固定資産税などの税収効果があります。企業誘致に関しては、既に1.4haの開発の話も出ております。また、数年前には住民や事業所からスマートICを推進に関する署名も提出されているところです。 このように、スマートICによるメリットは大きいと考えられるので、これからもスマートICに関する事業を進めていきます。		
竹1	道路・交通	総合計画における公共交通網の整備の位置づけ	第5次総合計画において、公共交通網の整備が今後力を入れるべき施策に位置付けられているのだから、もっと公共交通網の整備を行うべきではないか。	第5次総合計画においては、もちろん公共交通網の整備にも力を入れるべきことを位置付けていますが、本計画においては、それ以外にも今後の少子高齢化を見据えた様々な施策があり、全体をみて進めていきたいと考えています。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
竹1	道路・交通	ライフバスの運行本数	ライフバスの運行本数を増やしてほしい。1時間に1本は少なすぎる。特にみずほ台発の5番線において21時台のバスがないので、21時台もバスを運行してもらいたい。	現在ライフバスとは、定期的に協議を行っているので、それらを通してライフバスに要望していくとともに、ライフバスの再編の中で、住民の方々からこういった要望があることもしっかり伝えていければと考えております。なお、具体的な話はあとから担当から話を伺わせていただきます。	政策推進室	(懇話会終了後政策推進室で直接お話を伺い、下記のとおり回答いたしました) ライフバスの運行本数については、限られた乗務員数、車両数の中で運行しているため、運行本数をすぐに増やすことは難しいが、今後ライフバスに協議などを通して相談してみる。また、運行の安全性確保のため、連続運転時間などが決まっているため、現状のような21時台にバスがないダイヤとなっているが、今後の再編のなかで、このような要望があったことをライフバスに伝え、この再編によりこういった交通空白時間帯がないよう調整していきたいと考えている。
竹1	道路・交通	長期的な視野に立った公共交通施策	バスによる役場への移動手段がない。例えば志木市などはタクシー利用料補助が成功をおさめていると聞くが、そういった自治体を参考に長期的な視野にたった公共交通施策を考えていくべきではないか。	町民の移動の足については、可能な限りフォローしたいと考えておりますし、現状でもライフバスに赤字補てんとして一部の路線については、町から補助金を支出しています。志木市を参考にという話であるが、志木市をはじめ、タクシー利用料の補助を行っている自治体の状況などを調査すると、タクシー利用料補助については、自治体の財政負担が大きくなるなどの課題が見えてきているところであり、町の現状の財政状況を見ながら、検討していきたいと考えています。		
上3	道路・交通	町道の整備	(役場を背にして)下組の信号を左折したところの町道(幹線2号線)の歩道が狭い。かつて、傘がトラックにぶつかった事故があったとも聞いている。今後このような事故がないよう下組の信号を右折したところの県道同様に、歩道の整備をお願いしたい。	歩道の整備をはじめとした、通学路などの安全対策をできるところから順次進めていきたいと考えています。しかしながら、財政的な課題もあるので、町全体の町道の歩道整備の中で今後考えていきたいです。	道路交通課	【幹線2号線の歩道拡幅について】 現時点においての歩道整備計画はございません。歩道整備につきましては、車道と歩道が区分できる用地が必要になります。拡幅については財政上の問題や、地権者の同意の問題等もあり現時点では難しいと考えております。しかし、出来る限りの交通安全対策といたしましては、路面標示及び立て看板設置を検討したいと考えております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上3	道路・交通	インターフル化に伴う交通量の増加	スマートICがフル化をしたら交通量が増えるのではないかと。	交通量の増加に対しては、安全対策をしっかりと実施し、できる限りアクセス道路に誘導していく予定です。 なお、既に事前に行った交通量調査によると、フル化により交通の流れが変わり、所沢IC方面からの交通量も減るとの結果も出ているので、こういった結果も踏まえて今後の安全対策を考えていきたいです。		
上3	道路・交通	県道の整備	いも街道（下組交差点～多福寺交差点）は通学路にもなっているので、早く整備してもらいたい。	県道整備については、地権者の意向により進んでない箇所もあるが、今後もしっかり県に要望し、進めていきたいと考えています。 なお、今年度については、フル化を見据え埼玉県において県道の歩道整備整備費用をしっかりと確保してもらっています。		
上3	道路・交通	定期的な道路清掃	スクールガードを現在勤めているが、角屋交差点の排水溝は、網目が狭く雨が降ると落葉がよく詰まっている。そのため、排水溝に水が流れず、水がたまってしまう。月1回ほどでも、落葉清掃などを実施していただけないか。	スクールガードをお勤めになっているとのことですので、排水溝が詰まっているようであれば、随時町にお伝えいただければと思います。	道路交通課	【排水溝の清掃について】 昨今のゲリラ豪雨や台風の影響により、排水溝の詰まりにより、浸水の被害が生じております。県道の管理者である川越県土整備事務所へ随時報告を行い、今回ご指摘の場所については重点箇所として早急な作業を要請します。
上3	道路・交通	所沢への交通	所沢市へ通学している学生もおり、そういった学生は「自転車」で所沢市内の高校に通学せざるを得ない状況である。歩道なども狭い部分もあるので、自転車で通学するには危険が伴う。ついては所沢市への交通網も充実してもらいたい。	バザール賑わい公園構想の中で、バスターミナルの設置も検討項目となっているので、所沢市へのバスは其中で検討していきたいと考えています。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北3	道路・交通	ライフバス	新しい路線が北永井3区にとってサービスの向上になっていない。北永井3区はふじみ野市の隣で交通の便が悪く、また交通弱者も多い。1人や10人しか乗っていないからといって、藤久保にバスを通しても、藤久保の人は歩いて駅まで行くのではないか。デマンドも藤久保の人はそれほど使わなかった印象がある。福祉のまちづくりというスローガンならば、一番弱い所を助けるのが行政ではないのか。再編案は良い案だとは思わない。	北永井3区の皆さんの気持ちは良くわかります。1人でも多くの方が便利になるようにと思っています。駅への足を確保するというのがライフバスの目的であり、町も2400万円を補填しています。駅に行く足は1番線で確保されていると考えております。問題はふじみ野に行くことであり、あれば便利ではあるが、町としては全体を見ていかなければなりません。駅に行く足を確保する意味で鶴瀬に行く1番線の便数を増やし、サービスの低下とならないようにいたします。藤久保の人は多くデマンドを使っていました。ライフバスの再編を受けて喜びの声も上がっています。各区のバランスを取りながら町政運営していかなければならないと考えております。		
北3	道路・交通	福祉バス券	福祉バス券はもう配らないのか。	福祉バス券を配布している自治体はあまりありません。財政が厳しいのでそこを削りました。さらにバスの通っていない地域の方はあまり使えないので、公平性に欠けます。使わなくて売却する人もいました。そこでデマンドに切り替えましたが、費用対効果の面でやめました。年齢を区切ったり色々考えて、本当に必要な人に対しての新たなサービスを検討していきます。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北3	道路・交通	スマートIC	フルインターは本当に来年中にできるのか。どのような整備、混雑対策をするのか。	当初東京オリンピックまでの予定でしたが、国交省の提言もあり早まることとなりました。H30年開通を目指しております。今の進捗状況ですが、三芳中学校前交差点を拡幅しています。さらに町道上富258号線の整備と、セントラル病院前交差点の拡幅を今年度中に実施いたします。来年度は多福寺交差点、JAセンターの交差点の整備、幹線14号線の歩道整備を実施し、誘導看板を設置いたします。地権者の意向等もあるので、交通量調査を分析しながら、短中長期に分けてやっていきます。フル化を進める中で周辺の道路整備が進んでいく面もあるのでメリットも大きいと考えております。		
北3	道路・交通	拠点を結ぶ公共交通	ライフバスは朝は通勤通学に使われているが、昼間見るとあまり乗客が少ない。免許返納した人がどのように行動するか想定してほしい。昔構想があったと思うが、地域拠点を結ぶ公共交通はどうなったか。高齢者が元気に外に出れる社会をつくってほしい。	かつて拠点を結ぶバスの導入の考えもありましたが、デマンドによって、駅に行く需要が拠点以上にあることが分かってきました。そのため今回のライフバスの再編となりました。これで終わりではなく別の政策を考えていくので、これから意見も頂戴できればと思います。		
北3	道路・交通	速度規制	北永井の三芳野病院からローソンまでの通りの30km道路に、車が70km/hで走ってくる。警察の仕事だと思いが取り締まれないか。	スマートICのフル化に伴い、車の流れが変わり、危険になっている箇所があります。そういった対策について検討していきたいと考えております。	道路交通課	【スピード違反に対する取り締まりについて】 スピード違反に対する取り締まりについては、所管が東入間警察署となる為、対応可能か確認していきたいと考えております。スマートICを利用する車が生活道路に入ることや抑制するために、歩行帯を設け、敢えて車道幅員を狭めると同時に、通行抑制を促す看板を設置するといった取り組みも進めております。

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北3	道路・交通	ライフバスのバス券補助	ライフバスの券がないので役場に行くのに乗り換えて880円かかる。2km以上、70歳以上にはバス券を配ってほしい。	高齢者に向けての福祉政策は重要だと考えています。頂いたご意見を参考にしながら考えていきたいと思ひます。		
北3	道路・交通	道路修繕	光が丘自治会の通りのダンプ・トラック等の速度が激しい。道路も傷んでいて走行で生じる振動が気になる。修繕をお願いしたい。	スマートICフル化に伴い、速度の規制は看板等でしっかりやっぺいかなければなりません。場合によっては逆に道を狭くするやり方も有効です。道路の修繕に関しては担当課に話をしておきます。	道路交通課	【光が丘自治会(塩野輪店～北永井3区集会所)前の通りの道路修繕について】現状の確認を行い、修繕の必要な箇所については、なるべく早急に対応していきたいと考えております。スマートICフル化整備では、適切な道路への誘導を図るため、誘導計画を策定し、看板設置に取り組んでまいります。
北3	道路・交通	ライフバスの行き先について	バスの行先だが、利用者の目的は池袋に行くことなのか。利便性と観光の面から考えて、ふじみ野駅に行っただ方が池袋まで直通で行けるので有効だと思う。せめて朝と晩、2本だけ通すことはできないのか。	他にも所沢方面に行きたいという声もあります。ただ利用する方がどれだけいるのかということも考えていかなければなりません。バザール賑わい公園構想の中にバスターミナルを作るといふ案もあります。そこのバスでふじみ野・所沢を行き先にするこを検討していきます。		
北3	道路・交通	ライフバスの行き先について	北永井から所沢に行くバスを作れないか。上富に行く足も欲しい。	所沢方面への要望は多く、ららぽーとが出来た時に経由する案があったが流れてしまいました。バザール公園の中の構想でバスターミナルを入れていけたらと思ひます。		
藤6	道路・交通	バス	バスが通ることによって道路はどうなるのか。	押本木材の部分については拡幅できるように交渉し、安全対策をしてバスを通したいと思ひています。またバス停は渋滞にならない安全なところに設置したいと考えています。		
藤6	道路・交通	交通	ボランティアで色々な施設を回っているが、バスでは行けるところが限られていて、前に使っていたデマンド交通がなくなって困っている。	ライフバスの再編だけですべてが解決するとも考えていないので、ライフバスの再編が終わった後で、高齢者の方や困っている方の対策ができるように進めております。		

【道路・交通】

H29まちづくり 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤6	道路・交通	交通	公共交通がまちづくりの要になると思う。公共交通が整備されている地域は他から評価され、その結果移住が増えている。公共交通は民間に頼る時代は終わって最低限の責任として行政が進めて行くべきだと思う。西の玄関口よりもこっちに予算を投資したほうがいい。	デマンド交通やライフバスの再編などを一歩一歩積み重ねることで次のステップが見えてきております。次は年齢制限などをして特定の方の足を確保することが重要だと考えております。また、バザール賑わい公園の中でバスターミナルを設け、東京や新潟、所沢、ふじみ野に行けるようにするような案も出てきています。		

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤2	まちづくり全般	郵政宿舎跡地の有効利用の提言	<p>昨年12月に施行した「三芳町をきれいにする条例」に基づき、藤久保2区内・みよし台1区が「環境美化重点区域」「路上喫煙禁止区域」としてモデル地域に指定されました。</p> <p>さて、この条例の対象となっている2区内において、郵政宿舎跡地が1年余り未処理のままです。昨年質問回答では、町として何らかの関与をしていきたいが未定とのことでした。藤久保地区の公民館、図書館、出張所、学校を取り巻く拠点として思案しているか伺います。</p> <p>林町長の施政方針に企業誘致の項があり、都市計画課企業担当も設置したとのこと。跡地利用が町の活力、起爆剤となるよう藤久保地区の拠点として有効利用を切にお願いするとともに区民の憩いの場所、遊びの場所として開発誘導を願います。</p>	<p>【政策推進室】</p> <p>郵政宿舎の今後の利用については、郵便局に改めて問い合わせましたところ、現時点ではまだ未定とのことでした。現状としては、もし売却等のお話を町にいただいた場合には、町としては何らかの関与をしていきたいと考えております。一方で、藤久保拠点施設の検討も進めているところです。こうした取組を通じながら、住民の皆さんにご意見をいただきつつ、藤久保地区のよりよい将来像を描いていければと考えております。</p>
北1	まちづくり全般	FMみよしについて	<p>みよしエフエムの立ち上げにかかった費用はいくらか。また今後かかるランニングコストについて教えてほしい。</p> <p>みよしエフエムの本放送はいつから始まるのか。2市1町は同一なのか。</p>	<p>【財務課】</p> <p>「みよしエフエム」は、「特定非営利活動法人（NPO）」が開局した民間の放送局です。開局費用は、NPO法人が全額負担しています。コミュニティ放送局（三芳町・富士見市・ふじみ野市）として公益性が高いことから、庁舎の屋上にアンテナの設置を許可しております。町としては、屋上（行政財産）の使用料を頂いております。</p> <p>昨年（平成28年）の12月16日に無線局予備免許を取得しており、現在テスト放送中です。本放送は、本年（平成29年）の7月中旬以降を予定していると聞いております。</p>

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	まちづくり全般	副町長について	副町長の任期は何年か。いつも変わっているイメージがある。県から来てもらう意味は。	2年で代わる。県から副町長を呼ぶことで県や国とのパイプができ、事業や補助金の情報が入ります。外からの目線で町を見てもらうことでメリットもあります。		
藤3	まちづくり全般	印紙税法に基づく収入印紙	先日、27年度の随意契約公表対象から2件の公文書を開示してもらった。対象の公文書の写しを確認したところ、いずれも7000万円程度の契約であったが、そこに収入印紙がなかった。印紙がないのは脱税行為にあたるのではないか。町は非課税団体であるため印紙はないが、相手方からの書類には印紙が貼付されるはず。行政として指導してほしい。	持ち帰って確認をしてから回答いたします。各課適切に判断されているものと考えています。	財務課	【契約書類への収入印紙貼付について】 今回の契約「三芳町立各小学校教育用コンピュータの導入」に関しては、町はリース会社との賃貸借契約を締結していることから、「非課税文書」となり印紙は不要との認識をしております。 ※土地又は地上権の賃貸借契約書は、印紙税額一覧表の第1号の2文書に該当し、印紙税がかかりますが、建物や施設、物品などの賃貸借契約書には印紙税がかかりません。 (国税庁タックスアンサーNo.7101)
藤3	まちづくり全般	随意契約の基準	随意契約の公表は57件、合計額は9億420万だった。これは物件費のうち43.4%に上る。最も多い随契理由は「競争不適」で50件、7億1415万円。次が「競争不利」で14件、1億8800万円だった。本来定められた随意契約は制限金額の中で行われなければならないが、多額の随意形成が行われていると見受けられ、余分な支出をしているのではないか。契約方法について2月に財務課長名で文書を発出されているようなのだが、それに基づいて実施されているのか。	合計額では多額と感じられますが、個々の案件としては低い金額だと認識しております。具体的には分かりませんが、それぞれの案件に合わせて、地方自治法施行令に記載された理由に基づいて行われていると判断しています。もちろん私も担当課に確認しますが、きちんとした理由があってその説明を受けています。2月の文書もありますが、それに基づいてしっかりと各課行っていると思います。ご質問いただきましたので確認して回答したいと思います。	財務課	【随意契約について】 随意契約につきましては、地方自治法第167条の2第1項各号に定められた基準にもとづき適用するものとしております。今回公表しております各随意契約におきましても、上記各号に適用しているものであり、余分な支出をしている状況にあるものではないと認識しております。金額に関しましては、約半分の4億6千万程度は町のごみ処理にかかるものとなっております。今後も公平性・公正性を向上させるよう競争見積り合わせの積極的な活用等を図り、効果的な契約ができるよう努めてまいりたいと思います。

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	まちづくり全般	市制施行	三芳町は、市になることは目指さないのか。市でないことで人口が流入してこないのではないかと。「入間郡三芳町」では住みたくないのではないかと。高齢化が進む中で新しい人の流入を目指すために市にならないのだろうか。	以前の総合振興計画では人口5万人を超えて市になろうとする目標があった時期もありました。ただ、日本全体が人口減少している中で、5万人にならないと市になれないので難しいと思います。最近では白岡町が市になりましたが、4万人を超えている伊奈町や杉戸町でも、市になるのは難しいと考えているようでした。かなり大がかりな人口流入策を取っても、1万2千人増やすことは現実的に見て難しいでしょう。現状では、町として魅力あるまちづくりをして来てもらうようにします。		
藤3	まちづくり全般	合併による市制施行	(ひとつ前の質問に続けて)合併する機会はあったと思うが、機は逸してしまったのか。	以前、合併協議が流れたことはありました。鈴木議員にも一般質問を受けたことがありますが、富士見市などと合併を検討する余地はあるかと考えています。もっと広域的なものになるかもしれませんし、国では道州制の議論もあります。その動向も見ていきたいと思っています。		

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	まちづくり全般	郡制	<p>(二つ前から続けて)「郡」では人が来ないと思う。東京近郊で郡がつくのは三芳くらいで、よそに出かけたときに住所を書くときに肩身が狭い。住んでいる人は「いい町なんだから胸を張ったらいい」と言うが、よそからしたら田舎だと感じる。そうなると人口流入がなく、社会基盤が発展しない。人が来ればその税で社会基盤も整うので、その面から市になることを期待する。 脱財政硬直化をめざし、小ぢんまりとした町を形成すればよいということもあるが、社会基盤の充実が期待できない。</p>	<p>「郡」がについては困るという人もいますが、実際の人口流動ではマイホームを買う30～40代の人の流入が目立っています。人間郡であっても、町であっても、美しい緑や自然環境が良いので住みたいという方はいらっしゃいます。魅力あるまちづくりを進めていきます。 ただ、実際としては就職等で住所を書くときも「どんな田舎から来ているのだろう」と思われると聞いたこともあります。郡制については、町村の減った今の制度に合わなくなっているとは感じまして、制度変更を国会議員にも話していますが、改めて国に働きかけたいと思います。</p>		
藤3	まちづくり全般	財源の確保	<p>三芳町は現状、潤った町ではなく財源がない状況。他からお金をもってくる方法や、町の中でもっとお金を生むような仕組みをを考えないと、いつまでも貧乏になってしまう。 先ほど、企業誘致の実施と賑わいバザール公園の話があり、これを注視していきたいと思う。</p>	<p>しっかりと実施していきたいと考えています。</p>		
北1	まちづくり全般	財政	<p>町の将来負担比率が138%だが、どのように借金を返していくのか。交付団体になった方が良いのでは。</p>	<p>350%が再建団体の基準で、そこまではいっていません。借りの額を返す額より低くしていきたいと考えております。31年度が返済のピークですが、平準化して長く借りれるものや利率が低いものを選びつつ、借金に頼らない財政運営を目指しております。また、ふるさと納税や行政改革で事業の見直しをし、歳出を抑えています。交付団体は国が決めるので町では決めることができません。</p>		

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上2	まちづくり全般	雇用創出	昭和40年、50年に建てた家が藤久保地域を中心に沢山あるが、家の老朽化と共に高齢化の波が来ている。町に若者が少なくなっており、解決するために地元の雇用を創出してほしい。	20代の方は就学、就職で外に出ていきますが、マイホーム世代は町に移住するなど戻ってきています。東京に出ていく若者が東京に面白さや魅力を感じているのと同様に、三芳町を面白くすること、魅力ある町にすることが重要だと感じています。町内には多くの事業所があり、町長の事業所訪問で就労などを含めた情報交換を今までも行っています。Uターンにつながるような町内の就職先を調べて、たくさん発信をしていかなければなりません。今後も頑張っていきたいと考えております。		
み1	まちづくり全般	固定資産税	農業用倉庫と営業用倉庫では建物に関する固定資産税は同じかもしれないが、土地に係る固定資産税は40倍程度違うのではないか。しっかり課税をすれば増収になると思うが	確認して対応させていただきます。	税務課	【倉庫の土地に係る固定資産税の違いについて】 農業用施設用地に該当すれば、土地の評価は、質問者のいわれるとおり40倍程度の差となります。現状で13か所の農業用施設用地を把握しております。利用形態については、定期的に現況調査を行っており、適正に課税を行っております。
上1	まちづくり全般	近世開拓資料館	近世開拓資料館の予定地で現在駐車場になっている所はどのように活用されるのか。	町が管理者になるかわりに、無償貸与を受ける予定でしたが、県の担当者が変わったことで話がなくなってしまいました。ですが、町で年間30日は無償で借りられることになっています。		

【まちづくり全般】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
竹1	まちづくり全般	少子高齢化対策	少子高齢化対策を具体的に行ってもらいたい。例えば同じ埼玉県内でも滑川町などは第三子以降に出産祝い金20万円の支給などを行っている。こういった他の自治体の例を参考に少子高齢化対策を具体化してもらいたい。	今後町として子供を産み、育てやすい環境を作っていくことは必要であると考えており、（先ほどスライドで説明したが）今年度も子育て世代包括支援センター開設を予定しています。滑川町の例が挙げたが、三芳町はお金を支給して人を集めるのではなく、芸術・文化などが充実した自治体、緑が豊かな自治体など町自体の魅力を高め、環境がいいので今後も住み続けたい、新たに住んでみたいと思える自治体を創っていきたくて考えております。		
藤5	まちづくり全般	財政	財政が悪い状況について素人にも分かるように説明してほしい。広報にのっている内容では分からない。	常々分かりやすいものにしたいと思っ ているので、これからももっと改善して いきます。		
藤6	まちづくり全般	政策実施のスピード	スピード感を持って政策を実施してもらいたい。町民と行政の間には温度差があると思う。	非常に大事なことだと考えているので、町民の声を大事にしながらスピード感を持って取り組んでいきたいです。		
藤6	まちづくり全般	人口減・財政難	現状の人口を維持していくことは非常に困難だと思うが、それに伴い財政が不のスパイラルに陥らなければ良い。それをどのように維持していくのか。	人口減を補うために、高齢者・女性・外国人労働者の活躍に期待をしております。		

【健康・福祉】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北2	健康・福祉	組織連携	<p>民生委員、社協、老人会、行政の連携が薄い。老人会もふれあいセンターは問題にするが、ふれあいセンターにも行けないような介護が必要な方たちを地域の集会所で助け合おうというところに行政や社協や福祉関係の人が目を向けてほしい。認知症になってからは遅いし、予防からみんなでやっていかなくてはならない。組織が連携してやって欲しい。</p> <p>社協は会員だけでやっていこうという姿勢が強い。民生委員や地域に携わった人みんなもいれて活動していかないといけないと思う。</p>	<p>高齢化社会を迎えて、社協や行政、様々な団体が連携して課題を解決して支えあうことが大事だと考えています。その中で、率先して北永井は地区社協を作ってやっていただいている、他の地域も模範にして取り組んでいこうということもあるので、お互いに連携を取りながらやっていきたいと思っています。</p>		
藤4	健康・福祉	健康長寿事業	<p>万歩計を持つという人はそもそも健康なのでは。だから医療費が安くなったのだと思う。グラフでは3年間で三芳の医療費が下がったというようには読み取れない。</p>	<p>数値は傾向がみられるということなので、きちんとした数値結果ではありません。全員がどの程度医療費に下がったかではなく、何人かを選んで調べた結果このような数字になりました。ただ、例えば、一般会計から特別会計への繰り出し金下がったとか、医療費が下がったかというのが大事であると思いますが、29年度の予算編成をしている中で若干下がっていたため、影響があったということだと分析しております。この事業は3年あり、今年3年目なので終わった段階でしっかり検証していきたいと考えております。また、ここで県からこの事業への表彰をしていただきまして、その際プレゼンをいたしますが、そこでこの数値を上げさせていこうと思っております。ある程度、信ぴょう性があり医学的に証明できる数値を出していこうということを出た数字ですので、今後は財政的にどの程度数字が下がったか検証していきます。また、他にもいろいろなデータが出ていて脳卒中リスクも0.8%下がっています。しっかり検証したデータは皆さんにお知らせしていきたいと考えております。</p>		

【健康・福祉】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	健康・福祉	いもっこ体操に手話を取り入れる提言	耳が遠くなった高齢者にも伝わるよう、いもっこ体操に手話を取り入れてほしい。	手話によるコミュニケーションの素晴らしさは私も感じております。福祉課や他の関係課と連携して進めていきたいと考えています。	福祉課 健康増進課	【いもっこ体操に手話を加える取り組みについて：健康増進課】 現在、「いもっこ体操」では、映像及びサポーターの実演により、体操を行っているため、耳が遠くなった高齢者の方にも伝わると考えております。 今回のご意見については、福祉課と今後検討していきたいと思っております。 【いもっこ体操に手話を加える取り組みについて：福祉課】 手話を普及させる取り組みは様々な形で行っています。その中で「手話サロン」を藤久保公民館で展開し、高齢者の方にも多く参加頂いています。まず高齢者に手話を覚えていただき、様々な場面で使用されるよう取り組んでまいりたいと考えます。
藤3	健康・福祉	ふれあいセンターの予約状況	ふれあいセンターが移転し、12の老人会や他団体などが振り分けながら使っているが、なかなか場所の予約が取れない。明日も老人会が行われるが、集会所で行わざるを得ない。可能であればもう1か所、奥の畑などで多目的ホールのような施設ができないだろうか。	大変ご不便をおかけしております。新しい場所については、持ち帰って検討させていただきます。皆さんが使いやすい環境を整えたいと思っております。	福祉課	【ふれあいセンターの利用状況や予約の対応について】老人クラブのふれあいセンターの予約は、各クラブの会長さんをお話し合いで決定しています。このように老人クラブの予約は公平に行っていますが限られたスケジュールを配分するためご不便をおかけいたします。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。 また新施設設置の計画はありません。新たな場所でのふれあいセンター実施のため様々なご不便があるかと思っておりますが、できる限り皆様のお声を反映させ使用しやすい環境を整えてまいりたいと考えます。
み1	健康・福祉	ふれあいセンター	ふれあいセンターの将来像を見据えて整備投資が必要。今後どのようにしていくのか。	藤久保に公共施設をまとめた複合施設を検討していく中で、その中にふれあいセンターをいれようと考えています。今の所は間借りしているため、必要なところだけ投資をしていきます。		

【健康・福祉】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
み1	健康・福祉	高齢者対策	高齢者にやさしいまちづくりの実績、課題、予算についてどのようになっているのか。	成果等については改めて報告をいたします。	福祉課	【高齢者にやさしいまちづくりの実績・課題等】高齢者にやさしいまちづくりの中核は平成26年度から3年間実施した「高齢者にやさしいまちづくり懇話会」です。この会議は高齢者に関わる各分野の方々に構成しており、町も健康増進、自治安心、政策推進室などの部署が参加しています。3年間で高齢者の現状と課題を整理、またふれあいセンターの移転を協議しました。結果ふれあいセンターは北永井に移転し新たなふれあいセンターとしてスタートしました。また高齢者の社会貢献の場の必要性、地域との関わり、生きがい対策、健康寿命を延ばすなどの課題が抽出されたため、このような課題解決に向けた事業を本年度から3年間、県の補助金を受け「シニア活躍推進事業」を展開していくことになりました。具体的には「シニア」と「活躍の場」を繋ぐ取り組みを協議、実施するものです。
み1	健康・福祉	老人対策	老人対策が欠けている。なにか対策を	4年前に関東町村会で海外視察をした際、スイスに高齢者に優しいまちづくりネットワークがあつて、そこに高齢者が入って公共交通やバリアフリーや生きがい作りなど様々なことを議論し市にそれ報告して市と共に高齢者の住みやすい環境を作っていることに感銘を受けて、三芳町でも高齢者に優しいまちづくり懇話会を作りました。この懇話会で様々なことを議論しました。シニアが地域で活躍できる場を支援するアクティブシニアの活動を推進しております。ぜひ参加してもらえればと思います。また、6地区で地区社協を作ろうとしておりまして、いつまでも元気で活躍できるいられる町を作っていこうと考えている。		

【健康・福祉】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上1	健康・福祉	ふれあいセンター	ふれあいセンターに行ってもリラックス出来ず疲れてしまう	体育館を使用しているためご不便をお掛けしておりますが、少しずつ環境を良くしていきたいと考えております。		
藤5	健康・福祉	保育所の民営化	現在の進捗状況は	(こども支援課長の回答) 第二保育所の民営化については、平成31年4月から民営化することが決定しました。それに向けて今年度は、町に代わって保育サービスを受け持つ事業者を選定しているところです。保護者と協力しながらどういう保育所にするか構想を練っている段階です。それに基づいて12月くらいには事業者を決定していきたいと考えています。ガイドラインは町のHPに掲載しております。		
藤6	健康・福祉	生活保護	周りの生活保護者は朝から酒を飲んでいるなど、ずるい人がいっぱいいるので適正に支給がされているのか調査をしてもらいたい。	毎年調査はしていると思うがしっかりと調査していきます。	福祉課	【生活保護受給者の適正な受給について】生活保護の実施機関は埼玉県であるため生活保護受給者には埼玉県西部福祉事務所のケースワーカーが生活面の相談や助言を行い、適正な給付につとめている。町からも随時現状を伝えてまいりたいと考えます。

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤2	自治・防犯・防災	集会所の空き家利用の提言	<p>土地区画整理に伴う戸建住宅の販売による区民増加(H29.3/末1,429世帯/前月12%増)の流れを受け、二区集会所もコミュニティの憩いの場所として利用団体は増えるばかりです(H28.3末549回・延べ8,799人)。最近の利用者の特徴として、高齢化に伴い元気な高齢者の使用が多く(卓球などホールは満室)、また子育て中や就学前の若いお母さんの情報交換場所としても利用されています。</p> <p>ただし利用団体の利用回数も多いため、利用台帳を設け、3か月のうち1団体(個人)同曜日・同時間は5回まで予約できるものとして、住民文化の公平な運営や維持管理に努めておりますが、それでも予約が取れないとの声もあります。ただ、三芳町財政難の中、また町内の集会所も統廃合の中、新規建設は無理な話でしょう。区内の空き家店舗の利用や(建築基準法、消防法に抵触しない建物)借りる方法など、何らかの手立ての回答を是非ともお願いします。</p>	<p>【自治安心課】</p> <p>ご質問のとおり、町の公共施設マネジメントの中で、公共施設の新規建設は行わない方針が打ち出されています。一方で、藤久保第2区集会所の利用率が高いことも承知しているところです。ご提案の件は、近年地域課題とされている空き家問題の解決にもつながる内容と思いますが、町主体の対応のみならず、行政区・自治会主体の借上げも視野に、共に研究できればと思います。</p> <p>現時点では①相続等所有者都合による継続性の問題、②町主体とした場合の耐震性やバリアフリーの問題、③賃借料負担の問題などが懸案事項として考えられることではあります。当面は公民館等、他の公共施設の有効活用をお願いしていきたいと思えます。</p>
藤3	自治・防犯・防災	自治会加入案内をHPに載せる提言	<p>三芳町への転入者に対して自治会の加入を促進するため、現時点では三芳町HPに、行政連絡簡易区割り図と、行政連絡区正副区長名簿が掲載されている。これに追加して①各区内の自治会簡易区画割り図(自宅がどの自治会に含まれるか確認できるもの)、②各区HP(URL)、③フェイスブック等を載せることは可能か。</p>	<p>【自治安心課】</p> <p>行政区・自治会の加入率減少は、区長会と町の共通テーマとして、加入促進を協働で進めてきました。その一環として、町のホームページに行政区のしくみや活動を紹介し、身近に感じてもらう内容を掲載していますが、町ができることは限界があります。</p> <p>ご提案のように各行政区の特色を生かしたページにリンクを貼ることができれば「ようこそ」という歓迎のメッセージを直接受け取れると思います。更新頻度や内容の確認等ある程度のルールを決めて、リンクを貼ることなどをHP担当課と協議したいと思えます。</p>

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北2	自治・防犯・防災	集会所の整備	<p>公共施設マネジメントが打ち出され、老朽化した建物や集会所の建て替えが検討されているようだ。北永井2区の集会所も老朽化が進んでいるのだが、建て替えや修繕の予定はあるか。</p> <p>また、高齢化が進んでいて、畳に椅子無しで座るのがきつくなっている。板の間の床に椅子を使えるような建て替えを検討いただきたい。</p>	<p>長寿化や統合するかという公共施設マネジメントを作り、今年は具体的なアクションプランを作ります。来年頃から毎年もしくは1年おきに順に建替えていく予定です。北永井2区がいつであったか今は把握しておりませんが、その際には椅子やバリアフリーなどの配慮をしようと考えております。また、地域コミュニティの活動に補助金がもらえる制度がありますので、椅子などは申請いただければと思います。</p>	自治安心課	<p>【コミュニティ助成金(宝くじ助成金)の活用方法について】</p> <p>区の備品の更新については、宝くじの助成金を活用しています。毎年、2行政区を目安に区長会にて調整し申請しています。以前、北永井第2区は申請内容等により不採択になった経緯があります。集会所の耐用年数を40年とし、拠点集会所については建替える方向で検討しております。尚、宝くじ助成金は、公立集会所建設については対象外です。</p>
藤2	自治・防犯・防災	雨水対策	<p>昨年台風9号が来て大雨があった際に、藤久保230番地(富士塚第2公園付近)と藤久保1番地で水が出たと聞いた。これまで想像もしていなかったような大雨が増えるだろうと報道されている中で、昨年水が出た場所を町としてどう対策されているか伺いたい。</p> <p>砂川堀でも、そばの里付近で堤防が崩れたが、すでに修理が終わっていて、県の方は対応をやっているのだなと思った。三芳町は比較的災害が少ないとは思っているが、実際に床下浸水に近いくらい水が出ていることについて、どう考えて対策をしてきたか。</p>	<p>近年、異常気象で思わぬ災害が起きるようになってきていると思っています。昨年も砂川堀が崩れ、さらに上流の所沢市では川の越水がありました。安全安心なまちを作る上では、災害対策は非常に大事なことだと思います。</p> <p>以前より藤久保6区などで雨水管を通すなどして対策を進めており、昨年の被害に対してはまず緊急対策として土のうステーションを試験的に設け、いつでも水害に備えられるようにしました。また、中長期的には、下水などに関する計画を整備し、どのように水を流していくか定めることによって、計画的に雨水管等を整備していくようにします。</p> <p>藤久保1番地については、基本的にふじみ野市から流れてくる水であり、あちらに話をしています。ふじみ野市でも動きはあるようで、現在調整しております。</p>		

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤2	自治・防犯・防災	雨水対策	(上の質問に続けて)藤久保1番地では数年前から被害があった。土のうや少しばかりの堤防があるのだが、それでも水が入ってきてしまったということだと思ふ。 230番地は今まで畑が低く、そちらに水がいついた。区画整理によりかさ上げされて、今は道路より高くなっている。昨年度同様の雨があれば同様の被害があるように思う。土のうも大事だが、それを乗り越えて水が入ることも多いため、昨年と同じことにならないよう、緊急の対策が必要だと思ふ。	区画整理地内は、公園の地下に遊水地を設けているため改善されると考えています。 ほかにも、畑やヤマがなくなり、上富でもある時から水が出やすくなってきています。それに対する根本的対策は進めていきたいと思ひます。		
藤2	自治・防犯・防災	藤2区集会所前の掲示板	集会所入口に掲示板があるのだが、老朽化が激しい。下の方ははがれているところもある。補修または板の貼り換えをお願いできないか。5~6か所程度比較してみたが、この掲示板が最も老朽化していると思われる。 また、掲示板に紙でお知らせが貼られているのだが、掲示板には屋根がなく、雨が降ると濡れて破けて、中には下に落ちるものもある。パウチやビニールなどで雨対策をするよう通知できないだろうか。	6月議会でも質問をいただいており、老朽化についてははっきり対策していきたいと思ひます。 また、担当課の答弁を思い返すと、掲示板の掲示については貼った方の自主管理を依頼している。何らかの形で発信していきたいと思ひます。	自治安心課	【掲示板老朽化への対応及び掲示物のパウチ・ビニールによる雨対策周知について】 ご質問の掲示板の傷み具合は担当課にて確認しております。町内には60箇所の掲示板があり、修繕は痛みの激しいものから順番に行っております。掲示物の保護につきましては、届出の際にご案内することが可能です。
藤4	自治・防犯・防災	防災	志木市では小さな交差点にも消火器が置いてある。お金がかかるのはわかるが検討していただきたい。	たしかに交差点に消火器を三芳町は置いていません。町道だと町の管理になりますが、県道や国道だと県などとの調整が必要になりますので、他の自治体の事例を参考に検討したいと思ひます。	自治安心課	【まちかど消火器について】 町内は木造密集地域も多く、想定地震では30件の焼失が見込まれています。まずは、各自宅に消火器や火災報知器を備えなど「自助」の啓発が必要です。また、防災計画には、ご提案の「まちかど消火器」についても紹介し、地域共助による初期消火対策を促進するとしています。実際に「まちかど消火器」を地域に備えるには、設置場所の課題をクリアするとともに、心無いはずらや期限切れなどを防止するため、行政区や自主防災会と協働で進める必要があります。今後検討していきたいと思ひます。

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤4	自治・防犯・防災	消防団	消防団の人の報酬は年間で決まっているようで、大型流通倉庫の火災の際、年度末だったので予算もあまりなく、大変な作業をしているにもかかわらず報酬が少なかったと聞いた。農家の方は自分の家の作業を中止して行っている。町の広報に大きく取り上げたりして感謝を表しても良いのでは。	消防団員は仕事を持っている中で、活動をしていただき感謝している。階級によってのわずかな年俸と10回程度火災出動するというを想定して、手当は準備しています。今回は使い切ってしまった状況ではありますが、入間東部消防組合の予備費を各分団に分けさせていただきました。また、倉庫から上富の3つの区に100万円ずつご心配がありました。消防団にもありましたが、趣旨が違ふということで消防団が断り、区長さんの方から計300万円を、火災の際に破損したホースなどの消防団の備品に使うということになりました。広報で特集をしようと思っておりましたが、検証が終わり報告が8月になるので、あえてまだ触れませんでした。今後、感謝の気持ちを込めて改めて広報に取り上げたいと思います。	秘書広報室	【消防団の取り組みの広報への掲載について】2017年7月号の広報みよしでは、9ページの「みんなの消防」という欄に、消火活動にご協力いただいた企業の皆さんについて少しだけ触れさせていただきました。なお、全ての検証報告が終わり、落ち着いたところで広報に取り上げたいと考えております。いつ頃、どの程度の掲載になるかは状況を見て調整する予定です。
藤1	自治・防犯・防災	富士見市との境にある商店街の空き家	三芳と富士見市の境目に空き店舗があり、看板などが飛んでくる危険性。近くの公園も閉鎖になっており子どもたちが遊べなくなっている。富士見市の管轄だと以前もお聞きしたことがあるが、どうなっているか。	富士見市に伝えておきます。	環境課	富士見市に質問内容を連絡いたしました。

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	自治・防犯・防災	空き家問題について	空き家対策は町として何らかの取り組みをしてほしい。何か検討している方策があれば教えてほしい。	議会の一般質問でも話題になり、意見・提言をいただいております。ただ三芳町は他の自治体に比べて、空き家の数がまだ少ないと担当課から聞いています。しかし少ないからいいという訳ではなく、他の空き家が多い自治体の取り組みを検証し、対策を講じていくというのが現状であります。しっかりと考えていきたいので、皆さんからも意見を賜りたいと思います。	自治安心課	【藤久保3区での回答】(自治安心課長) 国で空き家対策特別措置法が制定されまして、県内でも市町村で対応が大きく異なるように、集まって協議をしながらマニュアルを作成し、これを基に進めていこうと考えています。 サンプリング調査ですが、三芳町の空家率は7.7%、1,120軒とされています。ここには賃貸物件なども含まれるため、実際には放置空き家の可能性があるのは350件程度と考えられます。 町では自治安心課・都市計画課・環境課・政策推進室で分担しながら対策を進め始めたところです。相談があれば複数で現場確認し、写真をつけて状況を所有者にお知らせしています。それによって最小限でも対応いただける方がほとんどです。ただ、所有者の所在が分からない場合もあります。今後は行政区と協力しながら空き家調査を行い、できる限り不安をなくせるよう取り組みたいと考えております。

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	自治・防犯・防災	空き家対策	47～8世帯の自治会の中で、5軒、約1割強が空き家となっている状態である。先日も議員のふれあい座談会で話をしたが、行政として空き家対策をどう行っているか、討議している状態なのか伺いたい。	<p>(町長) 空き家は全国的にも大きな問題になっていますが、三芳町においてはまだ空き家は少ない方です。しかし今後高齢化が進み、家屋の老朽化も進む中で、今後避けられない重要な政策と考えています。今は議論を開始したという状況ですが、しっかりと検討していきます。</p> <p>(自治安心課長) 国で空き家対策特別措置法が制定されまして、県内でも市町村で対応が大きく異なるように、集まって協議をしながらマニュアルを作成し、これを基に進めていこうと考えています。 サンプル調査ですが、三芳町の空家率は7.7%、1,120軒とされています。ここには賃貸物件なども含まれるため、実際には放置空き家の可能性があるのは350件程度と考えられます。町では自治安心課・都市計画課・環境課・政策推進室で分担しながら対策を進め始めたところですが、相談があれば複数で現場確認し、写真をつけて状況を所有者にお知らせしています。それによって最小限でも対応いただける方がほとんどです。ただ、所有者の所在が分からない場合もあります。今後は行政区と協力しながら空き家調査を行い、できる限り不安をなくせるよう取り組みたいと考えております。</p>		

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北1	自治・防犯・防災	空き家対策	空き家対策はどうなっているか。北永井に4階建ての建物（時事通信社三芳寮）があり災害の際、倒壊の恐れがある。	県からのマニュアルに基づいて担当課で調整し進めております。三芳町は空き家率は低いが、空き家は増えています。言っていただければ、関係課で調整して対応いたします。時事通信社の三芳寮は持ち主に確認し、結果を連絡します。	自治安心課	【旧時事通信社三芳寮の現状について】 別途、住民の方から相談がありまして、持ち主に連絡をさせていただいております。町では分担しながら対策を進めており、相談があれば複数課で現場確認し、写真をつけて状況を所有者にお知らせしております。それによって最小限でも対応いただける方がほとんどですが、連絡の取れない家もあります。今後は行政区と協力しながら空き家調査を行い、できる限り不安をなくせるよう取り組みたいと考えております。
上2	自治・防犯・防災	倉庫火災のその後	今年火災が起きた大型物流倉庫の付近に住んでいるが、火災後臭いがある。町の方で把握しているか。希望を持てるような話を伺いたい。	今回の火災では大変ご心配をおかけしました。倉庫会社としては2年後を目途に再建をしたいというお話をいただいております。関係者も地域の事を真摯に受け止めており、対応していきたいと聞いております。今後、今まで以上に地域との交流をしていくとのこと。きっちりと伝えれば、対応してくれると思っております。近隣の住民がどのような気持ちでいたかを正しく把握できていなかったかもしれませんが、そうした面も含めて会社の方に伝えていきます。お互い調整できるような方向に持っていきたいと考えております。	環境課	【大型物流倉庫からのにおいについて】 2月に発生した大型物流倉庫火災、大気や水質など環境に係る対応については、事業者が主体となり行政と連携を図りながら、周辺環境調査（自主検査）などを実施してまいりました。また、その結果や公表については、行政との連携のもと、近隣住民の皆様をはじめ、地域への報告を行ってきました。今後においても、近隣の皆様の環境や健康に対する不安に対しては、行政から事業者へ対応を伝えていきたいと考えています。
上1	自治・防犯・防災	集会所	集会所の部屋を増やしてもらいたい。	他の集会所も古くなってきており、今後は順番に集会所の修繕を進めていきます。また、1つの区に集会所が複数あるところについては1つにまとめて、その1つを拡張することなども考えております。上富1区は2つの集会所があるが、1つをやめるかわりに1つを拡張することについて、総意で合意が取れば改修を含め考えていきます。		

【自治・防犯・防災】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤5	自治・防犯・防災	集会所	今後の集会所の方向性として各区に1.5個の集会所という説明があったが、これは1もしくは2のほうがいいのでは。1.5というのはありえるのか。	公共施設マネジメントを進めていく中で施設の統合・廃止などがあり1.5となっているところもありますが、確かに分かりづらい部分もあります。	自治安心課	【今後の集会所の設置個所数に関する方向性について】 区長会等では集会所の将来的な配置方針について「行政区ごとに1の拠点集会所を配置の原則とし、一時避難等の合理的な理由により分室規模の集会所（0.5）をおく場合がある」と説明しております。
藤5	自治・防犯・防災	集会所	グランシアの中にある集会所をグランシアの管理組合に返したいとの意向だが、税金がかかるなどあり、戻してもしようがないのではないかと。これをそのまま町所有にして、地区社協の拠点とするなど他の使い方をすればいいのでは。	来年から集会所を建て替えていくことになりませんが、違った施設への活用はおもしろい発想なので、何か出来ないかを含めて考えていきたいです。	自治安心課	【藤久保5区第3集会所の今後について】 町内には、26の集会所がありますが、すべて公立というのは県内でも珍しく、人口減少社会の到来や財政難からこの形態が限界を迎えています。町の公共施設マネジメント計画は、町有建築物の総面積を減らす前提となっており、藤久保5区の集会所も同じ方向で行政区と協議してきました。グランシア管理組合で2回説明会を開催させていただき、開発時の寄贈物件であった藤久保5区第3集会所の土地建物の返還について提案しています。返還が不要ということであれば、町として他用途での活用や売却について検討することになります。
藤5	自治・防犯・防災	避難所	藤久保5区の避難所はどこになるのか？また防災倉庫の数はどのくらいか。	一時避難所は集会所となり、避難所が1部が三芳小、一部は藤久保小になります。地域避難訓練を行っているため是非参加をしていただければと思います。	自治安心課	【防災倉庫について】 町には8つの指定避難所（小中学校）と役場の計9か所に防災倉庫が配置されています。近年、藤久保小学校に1つ増設し現在10棟の防災倉庫があります。倉庫内の備蓄品の保存年限など日常管理を行い、町全体の避難訓練では、中の備蓄資機材の説明や体験訓練も実施しています。このほか、自主防災組織として独自に防災倉庫を集会所等に設置している行政区もあります。尚、集会所は一時避難「場所」であり滞在する場合は、指定避難所である体育館となります。

【環境】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤5	環境	富士塚新公園付近のごみステーションについて	<p>富士塚土地区画整理地内に新公園がオープンしました。その公園入り口付近にごみステーションが開設されましたが、近隣住民から苦情も多く、設置場所が不適切であると思われます。この場所に設置となった経緯、また理由について説明をお願いします。</p> <p>さらに今後の対応についても説明をお願いします。</p>	<p>【環境課】</p> <p>当該ごみ集積所については、近隣の同一区画の世帯が利用しているものです。設置の経緯については、富士塚第一公園が未整備であった一昨年、住宅開発に伴い、住宅販売事業者からのごみ集積所設置申請に基づき、公園敷地所有者である富士塚土地区画整理組合の承諾のもと、新設のごみ集積所として承認したものです。</p> <p>その後、区画整理事業整備の進捗とともに、昨年3月から入居され、近隣住民の方から、整備される富士塚第一公園周辺の環境等に影響があるのではないかと意見が寄せられました。環境課では都市計画課とともに、集積所を利用されている世帯の皆様にお集まりいただくなど、他の場所への移設等の調整を図ってまいりましたが、改善には至っていない状況です。</p> <p>新たな住宅開発が進展する当該事業整備地域内において、ごみ集積所の設置や自治会編成については課題となっています。今後においても、富士塚土地区画整理組合との調整のもと、安全で快適な生活環境の形成に向けた対応をしていきたいと考えています。</p>

【環境】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北2	環境	野良猫	野良猫にエサをあげる人や窓を開けて出入りさせている人がいる。そのせいで、野良猫が産出して増えている。今は問題なくても、このまま増えていく恐れもある。川越市ではさくら猫と言って去勢した野良猫の耳に切り込みをいれている地域もあるが、予算もかかるので、手術したり飼ったりする訳でないのなら、そういった行為をやめるようポスターなどで呼びかけてほしい。	政策をしっかりと考えていき対応させていただきます。	環境課	【地域の野良猫等の対策について】 野良猫対策としては、住民からの連絡により、現地確認・指導等を行っています。今後の状況を鑑みながら、ポスター掲示や呼びかけによる啓発も考えていきます。
藤4	環境	ゴミ処理	今年のごみゼロクリーン活動は中止であった。来年以降、継続できるようにしてほしい。分別ができない、出す日を間違えるなど、ごみ問題は多々ある。ゴミは個々の問題なので、守らせるには行政の啓発は不可欠だと思う。また、認知症や障がい者、外国人、仕事の時間がズレている人はルールを守りたくても守れない人もいる。そういう人の個々の対応もお願いしたい。	新しい環境センターができて、日曜は受け入れられない状況となっています。代わりに土曜日という話もありました。しかし今まで災害対策協議会がトラックを出してボランティアで各行政区を周って詰んで運んでおりましたが、土曜日は仕事なのでそれができません。また、直接クリーンセンターに持って行くので、きちんと分別できてないと受け入れてもらえません。実は今までは、三芳の清掃工場一度分別してから持って行っておりました。しかしそれが出来なくなったので、とりあえず今年は見送ることとなりました。今後、啓発を行い分別を住民がしっかりとできるようにになったら復活させたいと思います。また、そういった個々の対応についても地域で見守りや助け合いも必要であり、しっかり考えていきます。		

【環境】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	環境	ごみの分別・減量化	ごみの収集方法が変わったということもありますが、町は分別の方法が悪いというお話を聞きました。協働のまちづくりネットワークでどのような問題があるか検討したのですが、住民側としてはどう分別するのか理解されていないということと、行政側としては集積所の看板が新しいものに替わっていなかったり、壊れたままのものもある状況がありました。どうすれば住民に分別の意識がつくのか、ごみの減量ができるのかを、産業祭やみよしまつりなどのイベントで何か取組はできないだろうか。	三芳町は1人当たりのごみ量が多く、分別が徹底されていないところがあります。ふじみ野市と共同で環境センターを作ったところですので、足並みを揃えながらこれから努力していきたいと考えています。協働のまちづくりネットワークでは大きなテーマとして取り上げていただき、感謝しています。先進自治体は行政ももちろんながら、住民の皆さんの分別意識が高まっていて、見回りをしているところもあります。行政側もイベント等を通してお伝えしていき、住民・行政区にも連携を図りながら分別の意識を高めていきたいと思ひます。協働のまちづくりネットワークとも協力し、これからの在り方を考えたいと思ひます。	環境課	【ごみの分別・減量に関する啓発について】 ごみの分別、減量に関する啓発については、分別マニュアルの配布や広報への記事掲載などにより啓発を行っています。今後は、環境美化地域清掃活動の支援など、地域住民と共に、地域の活動を通じて分別・減量・リサイクル等呼びかけていきたいと考えています。 【集積所の看板について】 集積所看板については、設置件数も多いため、更新が間に合っていない状況です。効率的な手法等を検討して、看板の更新や分別意識を促進させていきたいところです。
北1	環境	ゴミ屋敷	ゴミ屋敷があるのだが、木が屋根にかかりネズミが発生している。近所の家に入ってくるし業者に駆除を頼んでいる状況。	民地なのですぐにどうこうすることはできませんが、まずは所有者に伝えて対応をお願いすることになります。防犯、防災上の問題や建物自体が危険なようであれば、建築関係等の関係部署と連携して対策いたします。	環境課	民有地ということなので、町での対応は限られていますが、住民からの連絡により、現地を確認して所有者に連絡等を行っています。
上1	環境	清掃工場の跡地	清掃工場の跡地利用について	プロポーザルでどんなものがあの場所に出来るか提案をしてもらっています。案が出てきた段階で皆さんの意見を聞いて、皆さんが納得できる良いものを作りたいと思ひておひます。	財務課	【清掃工場の跡地利用について】 現在プロポーザル（対話型市場調査）を実施中であり、その結果に基づき今後の利活用方法について町の方向性を確立していく予定となっております。

【環境】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北3	環境	タバコの吸い殻	北永井の三芳野病院からローソンまでの通り(幹線5号線)にたくさんのタバコの吸い殻が落ちている。条例はどうなっているのか。罰則はないのか。	昨年末に施行された、まちをきれいにする条例で、鶴瀬・みずほ台駅前や藤久保ではポイ捨てが出来ないようにしています。啓発をこれからも時間をかけてやっていき、結果罰則が必要なら検討したいと思います。	環境課	【まちをきれいにする条例の啓発及び罰則について】 タバコの吸い殻や空き缶などごみのポイ捨てなど、マナー違反が後を絶ちません。昨年12月、路上喫煙などを禁止した「三芳町をきれいにする条例」を施行しましたが、過料などの罰則規定はありません。今後においては、地域住民とともに、チラシ配布や標示物、パトロール活動などにより、啓発活動を実施していきます。 なお、ごみの投げ捨てに関しては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「埼玉県ごみの散乱防止に関する条例」などで罰せられることがあります。
藤5	環境	ゴミステーション	富士塚第1公園のゴミ捨て場所は公園の端にあつて、通る人や利用者に「ここに捨ててください」と言わんばかりの状況になっている。早急に移設を検討してもらいたい。	事前質問への回答では、今まで調整を図ってきていますが、移設に至っていない状況です。真摯に受け止めて、現場を確認して調整いたします。	環境課	【富士塚第1公園のごみ捨て場の移設について】 環境課では、これまで関係課とともに、集積所を利用されている世帯の皆様にご迷惑をおかけしてまいりましたが改善には至っていません。利用者のご理解をはじめ、快適な生活環境の形成に向けた対応を図っていきたく考えています。

【自然・公園】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤1	自然・公園	俣埜公園駐輪場内の憩いの場所について	またの公園の駐輪場を整備して、芝生等にて緑地化をしてください。 近年、ウォーキングが盛んになり、自宅に帰る途中で一休み、憩いの場とする為にもベンチを設置してください	【都市計画課】 一休みできるベンチの設置のご要望ですが、民地に設置することは、難しいと思われませんが、町の土地（たとえば道路の残地など）で危険性がなく安全なスペースが確保でき、また、隣地の方の了解が得られる場所などがあれば、調査等をして今後の検討課題とさせていただきます。
藤3	自然・公園	雨水貯水場の公園について	雨水貯水場の上の公園の開設内容と開園の時期を教えてください。	【都市計画課】 今年度中に北松原土地区画整理地内に（仮称）北松原第2公園（面積2,200㎡）を作る予定をしております。施設内容につきましては、芝生広場、中低木植栽、トイレ、藤棚、かまどベンチ、ベンチ、遊具、健康遊具などを設置予定しております。また、平成30年度以降には、北松原土地区画整理地内に（仮称）北松原第1公園（面積1,200㎡）を築造予定しております。開園予定時期につきましては、平成29年度中を予定しております。
藤6	自然・公園	ふじづか第2子ども広場について	①昨年度のまちづくり懇話会でも話題になったが、将来時に見て、買い取るか代替地を計画してもらえないか。 ②藤久保六区内には公園が無く、ふじづか第2子供広場しか広い場所が無いので、平日の午後や土・日は混雑して危険なこともあるので、別の場所に公園か大きな広場がほしい。	【都市計画課】 富士塚第2子供広場につきましては、昨年更新契約を締結いたしました。しかしながら、地権者の事情により契約解除の申し出があった場合には、交渉をさせていただきますが、もし契約の同意が得られない場合には、他の代替地等の利用などを検討させていただきます。 藤久保第6区の住民の方々には大変ご不便をおかけしておりますが、平成30年度以降に現在の富士塚第2子供の北側にあります、北松原土地区画整理内に（仮称）北松原第1公園（面積1,200㎡）を作る予定をしております。今後は、財政面のこともございますので、財政担当とも協議をしていき、新たな公園の完成に向けて進めてまいります。

【自然・公園】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤3	自然・公園	公園の日陰	新しい住宅ができ、公園もできてきた。だが、夏の公園があまりに暑く、子どもが遊具で遊べない。高齢者もとても休めない。できれば日陰を設けてほしい。	新しくできたところなので、緑陰やパーゴラをつくるなど、少しずつ整備して過ごしやすい木陰を作るなどしていきたいと思います。		
藤6	自然・公園	公園・子ども広場	子ども広場と言ったり、公園と言ったり混同している、また子ども広場の子どもが漢字だったり漢字でなかったり統一性がなく混乱してしまう。統一をしてもらいたい。	統一して分かりやすくしたいと思います。表記については時代の中で漢字で書いたり書かなかったことが原因だと考えられます。広場と公園は明確に違うので職員が分かるようにしていきます。	都市計画課	【子ども広場の表記について】 「子供広場」「子ども広場」が混在しておりますので、今後はわかりやすくひらがなに統一していきます。 【公園と広場の違い】 都市公園法で決定した公園及び区画整理事業地内の公園を「公園」とし、その他は「子ども広場」としています。

【教育・文化】 H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
藤1	教育・文化	公立小中学校の給食費についての提言	<p>29年度教育行政重点施策として、児童生徒が安心、安全な学校教育、生活ができる環境作り、教職員の管理能力の向上を図り質の高い学校教育を目指す項目があります。生活費を切り詰め給食費を捻出したり、給食費が払えず肩身の狭い思いをするなど、大きな負担を抱える家庭もあります。</p> <p>新しい給食センターの稼働や安全で豊かな学校給食を提供している事業に理解はできるものの、全額の無償化は無理としても、一部補助でも若い世代の定住や転入の効果を発揮し、三芳町の活性化に期待できるのではないのでしょうか。(所得により制度のしほりがあるのは承知しています)</p>	<p>【教育総務課・学校給食センター】</p> <p>給食費について、小学校2, 143人、中学校1, 120人の全児童・生徒に補助すると、小学生1億136万3900円、中学生6160万円 合計1億6296万3900円、また月額千円ずつ補助するとなると、小学校2357万3000円、中学校1232万円 合計3589万3000円となるため、町が負担することは、財政上難しいと考えます。町では、経済的な理由により就学が困難なご家庭に対し、就学援助制度がございます。給食費、林間学校、修学旅行費の全額、学用品、通学用品、遠足、医療費の一部を補助しておりますので、こちらを申請していただければと思います。</p>

【教育・文化】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤2	教育・文化	小学校のトイレ	先日、町議会で小松議員より小学校トイレの洋式化について質問があったが、難しいとの回答だった。 和式が多く、床を水を流して清掃するスタイルだが、これが原因で感染症が蔓延しやすくなり、学級閉鎖も以前に比べて非常に多くなった。そうしたことから洋式化改修を提案していた。ただ、改修には時間がかかるとされるため、現状では子どもたちは上履きで教室とトイレを出入りしており、これが感染症の温床となっているが、低予算かつ早急のできる対策として、トイレのスリッパを用意してほしい。	6月議会で小松議員より質問をいただいております。トイレの時には上履きを履き替えているものだと思っていましたが、そうではないということで、感染症や衛生面での指摘をいただいております。この場ですぐ付けるということはいえませんが、ご提案をいただいておりますので考えていきたいと思っております。	教育総務課	【学校トイレ洋式化・スリッパの導入について】和式から洋式の便器に替えるためには既設の排水配管を含めた改修が必要となり、費用についてもかなりの金額が必要となりますので、三芳町公共マネジメントアクションプランにて検討してまいります。 また休み時間多くの児童生徒がトイレを使用する学校では、スリッパへ履き替えが効率的でないこともあり、現在トイレ入口のマットで対応しています。今後便器の改修とともに床の乾式化についても検討してまいります。
藤2	教育・文化	給食の食べ残し	職業上、日々給食を食べているのだが、その給食の食べ残し、フードロスについて、もったいないなと思いながら片づけている。町としては学校給食の残りをどのようにしているのか。 また、担任の声掛けによっては食べ残しの多いクラスと少ないクラスがあると思う。学校や町全体で食料を大事にして廃棄を少なくしていくための取組は、それでも残ってしまった食料は、あるところでは堆肥化して市民に無償提供している自治体もあると聞いている。それは三芳でも可能だろうか。	(教育長)フードロスの処理について、把握できておらず申し訳ありません。ただ、少なくするための取組として「食育」について取り組んでいて、学校給食センターの管理栄養士が全学校に回って、食育指導を行っています。 また、完食賞という、学級単位で食べ残しゼロが月何回あったかを表彰し、各学級に渡して、励ましていく工夫をしています。 (町長)フードロスについては、世界を見渡せば多くの食糧問題があることから、真摯に受け止めたいと思います。学校での取り組みはもちろん、我々も懇親会などでは、最初の5分と最後の5分は席にいて食べ残しをしないような取組をしています。 新給食センターを立てる際には肥料化できる施設を設置することを検討していましたが、財政的な都合で設置できませんでした。今後の検討課題としたいと思います。	学校給食センター	【食べ残しの処理について】給食の食べ残しについては廃棄処分をしています。 フードロスについては、学校給食の食べ残し量を少しでも減らすために栄養教諭管理栄養士等が全学校を回り食育指導の実施や完食賞という、学級単位で食べ残しゼロが月に何回あったかを表彰し各学級に渡して励ましている工夫をしています。

【教育・文化】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤4	教育・文化	公共施設の駐車場の駐車場	藤久保公民館の駐車場を増やしてほしい。行事があるといっぱい停められないが、保健センターは乳児健診などあるし小さい子を雨の中で歩いていかせるわけには行かない、でも、車になると駐車場が少ないと感じる。ライフバスもこちらの方は大丈夫だが、役場より向こう側はもうちょっと何とかならないかを感じる。また、図書館はもう少し明るく大きくできないか。富士見市や朝霞市は大きく子どもも利用しやすい図書館だと感じる。	藤久保公民館などのあたりは老朽化しているので建て替えをしなければいけない時期ですが、町ではそこを複合化しようと考えています。10年前後を目安に、その中で駐車場の問題や図書館の外観をもっと良くすることも検討していきます。		
藤1	教育・文化	文化祭・合唱祭の周知	50年以上続く、三芳町の文化祭は住民に土着したものとなっているが、広報で終わった後に取り上げられることがあっても、事前の周知はあまりなされていないように思う。合唱祭も同様である。	文化祭の素晴らしさは私も感じているところです。事前に周知していくことが必要であり、検討していきます。	生涯学習課	【文化祭・合唱祭の事前周知について】 町民文化祭では、町民文化祭実行委員会で日程1ヶ月前にプログラムの全戸配布及びA1版ポスターを町内掲示板他に掲示、そして町広報で周知しております。合唱祭は住民団体によるイベントですが、町としてもできる限り周知に協力できるよう検討します。
藤1	教育・文化	藤久保公民館に車イス用スロープ設置の要望	毎年3月のふれあいコンサートなどで必要だと感じたが、車イスの方が舞台上がるためのスロープを設置できないか。周りの人が手で引き上げて、危険であるというのが今の現状である。	高齢者にも障がい者にも優しい町をつくっていかうと考えております。担当と相談して、前向きに検討いたします。拠点移設で建て替えをしていく予定だが、その前の対応として検討していきます。	生涯学習課	利用者の安全性を考えると、スロープの設置のほか電動リフトの活用も含めて最適な方法を検討する。

【教育・文化】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤1	教育・文化	小学校の給食費の徴収方法	給食費の集め方だが、唐沢小では保護者が朝学校に来て徴収する形になっている。だが竹間沢小では引き落としとなっており、学校によってバラつきがあるのはどうなのか。仕事を休んで徴収するのは負担である。提案として児童手当から徴収するのはどうか。	給食費の徴収に関しては、公会計と私会計のうちの私会計となっていて、その中でも手集金と引き落としの学校があります。小学校は手集金となっています。手集金となっている学校では、引き落としにしようと考えていて、できれば来年からスタートさせたく、将来的には公会計としたいと考えております。7月にある教育総合会議で議題として検討したいと思います。	学校教育課	【給食費の集金方法】 現在、給食費の集金方法（現金集金・口座振替）は学校により異なりますが、来年度（30年度）より全校口座振替を実施する予定です。
藤1	教育・文化	みよしまつりの花火について	みよしまつりの花火の打ち上げ場所は変わったのか。藤久保1区からは随分と見づらくなった。	変わりました。イムスが出来て、安全上の問題で上げられなくなりました。		

【教育・文化】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
北1	教育・文化	高校受験指導	川島町は塾に委託して高校受験指導をしているが、三芳町はどういった考えをお持ちか。	教育委員会で子どもの学力向上や教員の配置、環境面において力を入れております。塾に委託などは今は考えていませんが、学力向上の色々な方法の一つとして他の自治体を参考にしつつ、選ばれる理由の一つにもなると思うので、川島町の事例は調査いたします。	学校教育課	<p>【中学生の学力向上対策】</p> <p>児童・生徒の学力保障、学力向上は教育委員会、学校が取り組まなければならない最重要課題と認識しております。三芳町の児童・生徒の学力は、国、県の学力調査の結果によると、基礎基本、活用や応用の両面で十分といえるレベルまで達成したとはいええない状況にあります。</p> <p>現在、町内各小・中学校では、指導方法や内容、学習形態等を工夫し、個に応じたきめ細かな指導のもと、学力の定着、学習習慣の確立、学習意欲の向上に取り組んでおります。個に応じたきめ細かな指導を行うため、各学校に学習指導員や教育支援員、特別支援教育支援員など多様な町費臨時的職員を配置しています。</p> <p>また、休み時間や授業後、定期テスト前、長期休業中等に、基礎学力の定着と向上を目指した補習を行っています。経済的な理由や家庭の事情に関わらず、全ての児童生徒に確かな学力を定着させることが何よりも重要と考えます。</p> <p>学校教育課では今年度、8月22日（火）から8月29日（火）までの平日の午前中、中央公民館、藤久保公民館、竹間沢公民館で各2日ずつ、3年生以上の小学生を対象とした学習教室「みらい・のぞみサマーチャレンジスクール」を開催する予定です。</p>

【教育・文化】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
み1	教育・文化	図書館の貸し出し	三芳町の図書館ではCDは1週間、DVDは貸し出ししていない。他の市ではCDは2週間のところが多い。出来たら貸し出し期間を延ばしてほしい。	担当課と調整します。	図書館	【図書館のCD・DVDの貸出について】 CDは蔵点数が少なく、回転よく貸してほしいという利用者の要望が多いことから、貸出期間を1週間にしたという経緯があります。ここで再度検討いたします。DVDについては、貸出可能なDVDは1点16,000～30,000円（図書の約10倍）の高額資料となるため費用面及び管理面のハードルが高く購入できずにあります。利用ニーズを調査し検討いたします。
北3	教育・文化	マラソン大会についての提言	三芳町にはマラソンで功績を上げている奥宮選手という有名な方がいる。この人を巻き込んで上富周辺をまわるマラソン大会を行えば、参加費による歳入が見込まれるのではないかと。奥宮選手から提案書をもっている。	奥宮選手は広報でも取り上げさせていただきました。日本農業遺産にも認定された上富地域を歩いたり走ったりする企画は良いと思います。具体的な提案書を頂いたら検討いたします。		
藤5	教育・文化	給食センター	説明の中で三芳の給食の話があったが、給食を食べる機会がないので、給食を試食できるようなイベントが欲しい。	教育委員会や給食センターと相談します。	学校給食センター	【関係者以外への給食試食会】 学校給食は学校給食法第3条により児童生徒に対して実施する給食であり、現在はPTAの試食会以外は行っておりません。

【産業・観光】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
上2	産業・観光	日本農業遺産の今後の展望について	日本農業遺産について、今後の展望はどうなっているか。	<p>【観光産業課】</p> <p>武蔵野の落ち葉堆肥農法は世界農業遺産の推薦こそ得られませんでしたでしたが、昨年度の3月に日本農業遺産に認定されました。農業遺産に認定された地域は、農業遺産の保全や活性化の方法を定めるための保全活動計画を作成することとなっております。保全活動計画は7月に開催される協議会総会で策定する予定であり、現在協議会では、保全活動計画の中身を会員市町と協議中です。保全計画には、落ち葉堆肥農法の担い手を拡大し、平地林の維持活用を図る「農業の継続と生物多様性の維持」や教育機関との連携や地域景観の向上を図る「伝統的土地利用と文化の継承」、そして日本の里山システムを発信する「国内外の交流拡大」等、農作物のブランド化や地域の活性化に資する活動がもりこまれる予定です。</p> <p>武蔵野の落ち葉堆肥農法は町の重要な地域資源であり、当農法の国内外の知名度が向上することは、農作物のブランド化やインバウンド需要の呼び込み等の追い風になり、ひいては武蔵野地域全体の活性化につながるため、日本農業遺産に認定されたことを積極的に周知する必要があると認識しています。</p> <p>特に、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの食料調達においては、農作物の推奨基準に世界農業遺産や日本農業遺産に認定された農作物が盛り込まれる見通しであることから、武蔵野の落ち葉堆肥農法が日本農業遺産に認定されたことが、農法を実践される農業者にとってプラスになると考えています。落ち葉堆肥農法実践農業者の認定、PRの方法やロゴマーク等については引き続き各市町とよく連携しながら協議してまいりたいと思います。</p>

【産業・観光】

H29まちづくり懇話会 事前質問への回答

地域	分野	テーマ	質問内容	担当課回答
み1	産業・観光	町にある農業用倉庫の実態について	<p>町内にある倉庫で、いわゆる農業用倉庫として建設され稼働している倉庫がある。その中に、建築申請とは稼働実態がかけ離れている倉庫が数多く存在しているとの指摘を耳にする。町として対象となる倉庫が何棟か存在しているのを把握していると思われるが、それを行政が黙認し税金逃れの手助けになっているのではないか。</p> <p>今後どのような税務対策・対応をされるのか、スタンスをお教え願いたい。</p> <p>参考までに、農業用倉庫と通常用倉庫との税率の違いを教えてください。</p>	<p>【課税状況について：税務課】</p> <p>ご質問の内容でございますが、農業用倉庫がそれ以外の倉庫と比べて税額が低いように思われてご質問されていると思います。</p> <p>まず、倉庫の課税でございますが、農業用であってもそれ以外の倉庫でありましても、評価につきましては、同一の評価基準を用いて課税を行っております。税率につきましても、農業用倉庫に対して特別な税率の適用規定はなく、固定資産税は1.4%、都市計画税は0.2%と、他の物件に課税する税率と同一でございます。仮に農業用の倉庫を建設して、その後それ以外の目的で使っていても税額は変わらないこととなります。</p> <p>以上のとおり、農業用倉庫とその他の倉庫について課税上区分がないため、税務課としては件数等の把握はしておりません。</p> <p>【違反指導について：都市計画課】</p> <p>農業用倉庫として許可を取得し、一般の倉庫（業務用、貸倉庫）または、倉庫以外に利用している物件（いわゆる違反物件）につきましても、現在、町が把握している物件は22件ございます。</p> <p>この違反物件につきましては、都市計画法及び建築基準法相互の違反ということになり、埼玉県との連携を図り違反の是正指導を行っております。一般的には、違反者を役場に呼び出し、許認可の確認や事情を聴取し、口頭による指導を行います。</p> <p>次に、違反の是正に向けた指導を行い、是正計画書を提出させ経過観察を行っております。</p>
上3	産業・観光	農業後継者について	<p>上富地域は若い農業後継者が熱心に農業を営んでいますが、将来家族農業が残れるような対策を考えていますか。スマートインター開発などの施策では、農業を守れないと思います。</p>	<p>【観光産業課】</p> <p>町では、次世代農業者、女性農業者、新規就農者の支援を推進していくために「人・農地プラン」を町内全域にて策定いたしました。上富地区におきましても平成26年度に策定しております。その中で今後地域の中で中心となる担い手を位置付けておりますので、その方々を中心にこの計画を推進していき、地域の実情に沿った政策が盛り込める形で随時見直しをしていきたいと考えています。</p>

【産業・観光】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上2	産業・観光	農業センター	農業センターのトイレの工事の進捗はどうなっているか。早くしてほしい。	3月議会で早急にやってほしいと伝えております。担当課からは10月中旬～12月の工期を予定していると聞いています。夏ぐらいに早められないか聞いてみます。	観光産業課	【農業センターのトイレ改修の時期】工事工期が約3ヶ月程度を要するため、9月末のイベント終了後として、区とも調整を図った上で10月から予定しております。
上2	産業・観光	農業センター	農業センターの配電盤の中のタイマーが壊れている。	29年度中に修繕します。浄化槽については業者と折衝中の状況です。		
竹1	産業・観光	日本農業遺産	日本農業遺産に認定されたということであるが、竹間沢や藤久保の農家には情報が伝わってこない。 日本農業遺産に認定されることにより、どのようなメリットがあるのか、どれくらい日本農業遺産に関して税金が投入されるのか、規制はかかるのかなど全体の農家に伝わってこないのので、そういった説明を上富だけでなく、他の地域にも説明してもらいたい。	日本農業遺産のメリットとしては、日本農業遺産に認定されることにより、農法の維持が図られ、それに付随してその周辺の景観や生物多様性が保たれます。また、このことが地域住民にも認識され、愛着が生まれるとともに、外部的にも三芳の農業が注目されることになり、多くの方が三芳町を訪れたり、三芳産の野菜を選んでもらったり、三芳の農業の活性化につながるとともに、町の顔と考えるものと考えています。 日本農業遺産に認定されても、規制については特段かからないものです。また、投入された税金に関しても、多くの方がこの日本農業遺産をきっかけに町を訪れ、それに伴いお金が地域に落ちることにより、かけた費用以上に回収できるものと考えています。 今回このような意見もあったので、町全体の農家の方々にこの日本農業遺産の取り組みを理解していただけるよう、課題をまず整理して、改めてご理解いただけるよう説明を行っていきたいと考えています。	観光産業課	【日本農業遺産の取り組みの農家への周知】 日本農業遺産認定後の活動等については、申請母体でもある武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会が主体となって行っていくこととなります。協議会のホームページを作成し、具体的な協議会の事業が決まり次第、周知を行っていきます。また、各種啓発イベントや実践農業者の認定にかかる説明等を行う中で、他の地域の方にも併せて啓発及び保全活動を行っていきたいと考えています。

【産業・観光】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
上3	産業・観光	世界農業遺産	世界農業遺産に認定されると農家にはどんな影響が出るのか。	<p>まず、今回町が認定を受けたのは、世界農業遺産ではなく、日本農業遺産です。そして、日本農業遺産に認定されることにより、農法の維持が図られ、それに付随してその周辺の景観や生物多様性が保たれることにメリットがあります。これ以外にも日本農業遺産に認定されることにより、国から支援を受けることもでき、2020年のオリンピック・パラリンピックでも優先的に食材として利用される可能性もあり、認定を受けるメリットは非常に大きいものと考えています。なお、農業を食べものを作るという側面だけではなく、多角的な面から評価し、国として認定し、保全をはかっていくというのは世界的な潮流でもあり、既に中国や韓国ではこのような国としての認定制度はスタートしています。</p>		
北3	産業・観光	歳入増のための観光産業の方策	外からは三芳町は財政豊かなイメージだが、実際は財政はカットばかり。歳入を増やしてほしいのと、観光に力を入れるべき。三富新田、みよしまつりや多福寺、野菜など観光資源がある。それらを活かす方策を考えているか。	<p>ふるさと納税を赤字だった一昨年から、昨年は約1億3000万円集めました。企業誘致に関しては、1haで3300万円の固定資産税が入る見込みです。みどり共生産業ゾーンにて力を入れていきます。観光に関してはうまく発信をしていくことがカギであり、広報みよしのやり方につながっております。これまで様々なサービスを削減して行革を進めてきたが、もう限界がきているところで、これらで新たな歳入の増加を目指していきたいと考えております。</p>		

【都市計画】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤2	都市計画	スマートICフル化と企業誘致	財政面の問題から企業を誘致して固定資産税を得られればと考えているようだが、希望する企業はどの程度手を挙げているのか。	希望している企業はありまして、最終決定すれば具体的にお知らせできますが、流通関係の企業と伺っております。誘致も大事であります。留置も大事であり、圏央道周辺が便利になって、そちらに移動する企業も増えている状況です。その中で、北永井のある会社からは「ここに残りたい」とも話を聞いていますし、上富の町工場からも希望を聞いていて、三芳には需要があると考えております。留置していくためには利便性も大事で、スマートICフル化で利便性が上がることで留置につながります。住民だけでなく町工場の皆さんも希望されているものでございます。		
藤4	都市計画	住居表示	近所でも何番地かわからない。警察や消防は把握しているのだと思うので、緊急の場合連絡しやすいように、交差点や個人の玄関先など住居表示をお願いしたい。	他にもそういった要望が来ております。検討いたします。	政策推進室	【住居表示について】 現在町では住所の並びを規則的に変更する住居表示の実施を様々な観点から慎重に検討しております。住所の並びを規則的にすることで、どこにどの建物があるか、分かりやすくなります。しかしその反面、免許証や登記など各種の住所変更を住民の方に行って頂く必要があること、住居表示の実施に必要な費用が大きいこと等の課題が考えられ、その費用対効果についても見極めているところです。
藤1	都市計画	住居表示	富士見市のように、ここは鶴瀬西〇〇番地と住居表示をしてほしい。	他の区でも要望が出ており、検討いたします。	政策推進室	【住居表示について】 現在町では住所の並びを規則的に変更する住居表示の実施を様々な観点から極めて慎重に検討しております。住所の並びを規則的にすることで、どこにどの建物があるか、分かりやすくなります。しかしその反面、免許証や登記など各種の住所変更を住民の方に行って頂く必要があること、住居表示の実施に必要な費用が大きいこと等の課題が考えられ、その費用対効果についても見極めているところです。

【都市計画】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

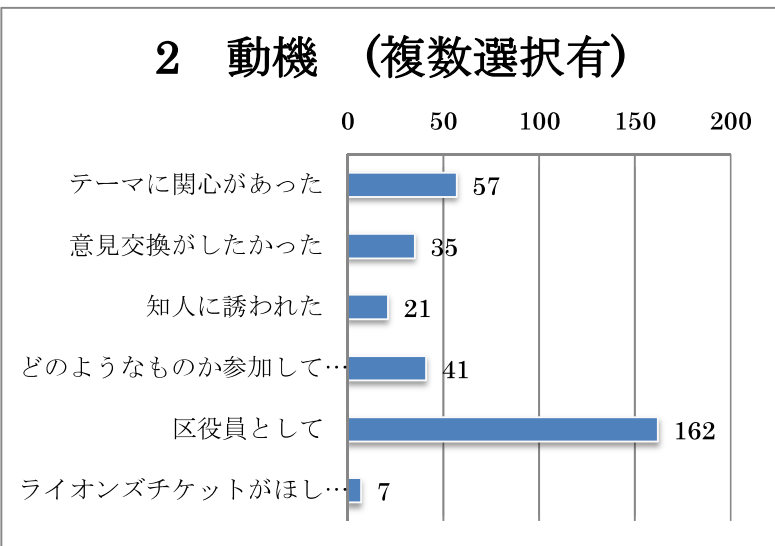
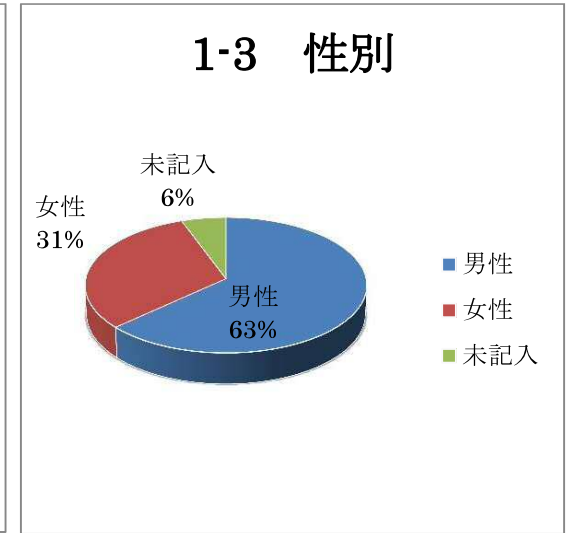
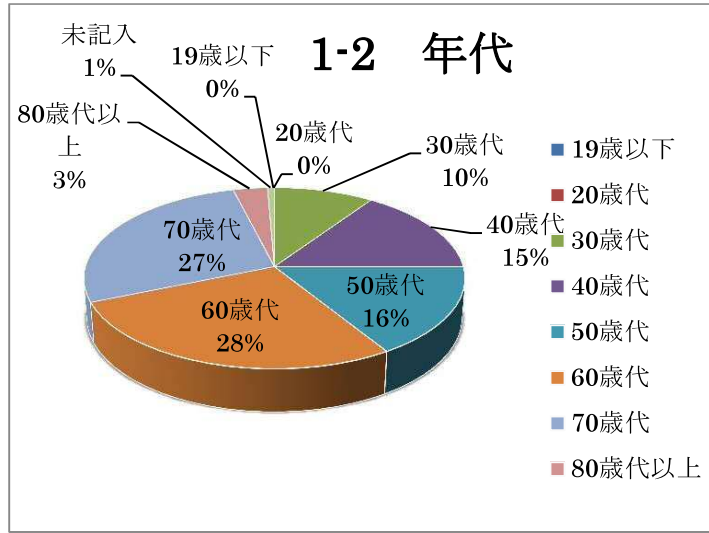
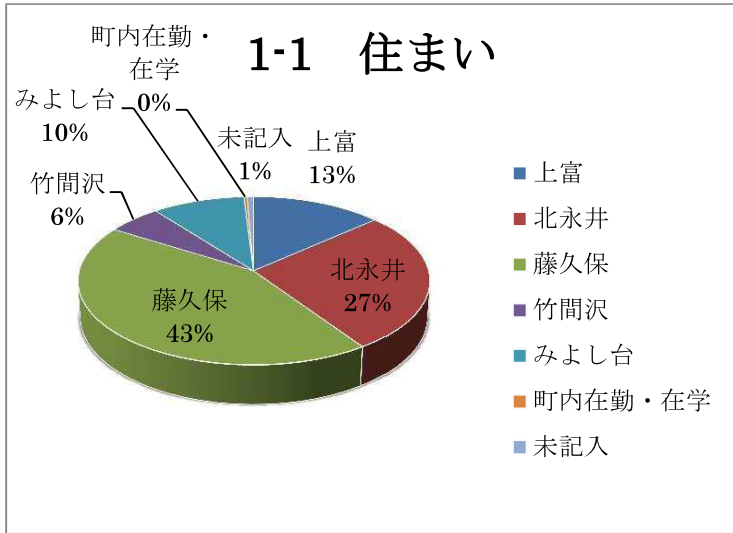
地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
み1	都市計画	竹間沢の今後	竹間沢については今後どのように発展させるのか。	藤久保の区画整理がそろそろ終了するため、その後は竹間沢を整備することを考えています。また通西については企業誘致していくことを考えています。		
み1	都市計画	道路	竹間沢地区の道路は昔のまま、こぶしの里に虫を見に行くまでの道路が危ない。道路をもっとよくしてもらいたい。	藤久保の区画整理が終わった後に、竹間沢の道路を改良することや、通西に企業誘致することなど、全体の中で考えていきます。	道路交通課	【竹間沢地区の道路の修繕について】 現状を確認し危険箇所も含め修繕の必要な箇所については、早急に対応していきたいと考えております。
上3	都市計画	企業誘致・留置	企業誘致・留置は現在どのような状況なのか。	企業誘致・留置は町にとって非常に大事な施策であると認識しています。現在、各自治体間において、企業の取り合いとなっている状況であり、スマートIC整備もこの競争に勝つための基盤整備の一つであります。 今年度より町では都市計画課内に企業誘致担当を設け、埼玉県企業誘致担当部署と連携を図っているところです。 また、企業留置の観点から町長の事業所訪問を積極的に展開していきたいです。		
上3	都市計画	保全と開発	企業誘致でどんどん企業が入ってくると土地の売買などが進み、農地や山林が減ってしまうのではないか。	保全と開発の二者択一の思考ではなく、自然も残しながら、開発を進めていきたいと考えています。その考えの表れが、土地利用構想図における幹線3号線の「みどり共生産業ゾーン」です。 保全と開発のバランスの良い町づくりを作り上げたいと考えています。		

【都市計画】

H29まちづくり懇話会 当日意見交換での回答

地域	分野	テーマ	質問内容	町長の回答	担当課	担当課回答
藤5	都市計画	住居表示	区画整理を実施した後に住居表示を実施すると聞いていたがどうなったのか。	行政区や学校区などの話もあるのでその整理をしていく必要があります。また住居表示を実施することで住居に看板をつけて住所を示すこととなりますが、それを嫌がる人も多く、また多くの予算も必要になります。これまで4つの質問があったのでしっかりと考えていきます。	政策推進室	【住居表示について】 現在町では住所の並びを規則的に変更する住居表示の実施を様々な観点から慎重に検討しております。住所の並びを規則的にすることで、どこにどの建物があるか、分かりやすくなります。しかしその反面、免許証や登記など各種の住所変更を住民の方に行って頂く必要があること、住居表示の実施に必要な費用が大きいこと等の課題が考えられ、その費用対効果についても見極めているところです。
藤5	都市計画	郡制	入間郡を取ることはできないのか。	「郡」がついては困るという人もいますが、実際の人口流動ではマイホームを買う30～40代の人の流入が目立っています。入間郡であっても、町であっても、美しい緑や自然環境が良いので住みたいという方はいらっしゃいます。魅力あるまちづくりを進めていきます。ただ、実際としては就職等で住所を書くときも「どんな田舎から来ているのだろう」と思われると聞いたこともあります。郡制については、町村の減った今の制度に合わなくなっているとは感じまして、制度変更を国会議員にも話していますが、改めて国に働きかけたいと思います。		

平成29年度まちづくり懇話会 来場者アンケート回答者属性 (総数 304)



- ### 2 動機 その他回答
- ・自治会役員として 4
 - ・PTA 2
 - ・消防団 2
 - ・未記入 2
 - ・民生委員として
 - ・区長に誘われた
 - ・質問があったから
 - ・社協ボランティアとして

